

令和 5 年度

南畑敷生協団地老朽管更新工事

数 量 計 算 書

(1工区) ϕ 75、50

数量総括表

配水管(1工区) 布設工事

費 目	種 別	規 格	単位	数 量	摘 要
1. 土 工					
	舗装切断工	As版カッター t =15 c mまで	m	690	
	舗装版取り壊し工	排出ガス対策型 直接掘削積込 BH0.28m3, t =10cm以下	m2	210	
	AS殻運搬工	DT 4 t 積BH0.28m3 積込 As版カッター殻	m3	8	
	処分費		t	20	
	床掘工	土砂 BH0.28m3	m3	270	
	ダスト埋戻工	ダスト BH0.28m3 タンパ転圧	m3	72	
	発生土埋戻工	在来土 BH0.28m3 タンパ転圧	m3	147	
	発生土運搬工	DT 4 t 積 BH0.28m3積込 土砂 (現場～仮置場)	m3	147	
	積込工	排出ガス対策型 BH0.80m3, 土砂 (仮置場) ルーズ	m3	147	
	流用土運搬工	DT 4 t 積 BH0.80m3積込 土砂 (仮置場～現場)	m3	149	
	残土運搬工	DT 10 t 積 BH0.80m3積込 土砂 (仮置場～処分地)	m3	111	
	処分費	軽質土	m3	111	
2. 仮舗装復旧工					
	下層路盤工 (市道)	人力、W=1.8m未満、タンパ転圧 RC-40、t =15cm 車道	m2	212	
	上層路盤工 (市道)	人力、W=1.8m未満、タンパ転圧 M-30、t =11cm 車道	m2	212	
	表層工 (市道)	人力、W=1.4m未満、バートル 再生密粒度アスコン、t =3cm 車道 PK-3	m2	212	
	区画線工	ペイント式 W=15cm 実線	m		

数量総括表

配水管(1工区) 布設工事

費 目	種 別	規 格	単位	数 量	摘 要
	区画線工	ペイント式 W=45cm 実線	m		
3. 本舗装復旧工	<舗装取壊し、掘削>				
	舗装切断工	As版カッター t =15 c mまで	m	460	
	舗装版取り壊し工	排出ガス対策型 直接掘削積込 BH0.28m3, t =10cm以下	m2	580	
	As殻運搬工	BH積込 DT4 t 運搬 Asガラ	m3	21	
	処分費	Asガラ	t	50	
	床堀	排出ガス対策型 B H0.28m3 軽質土	m3	2	
	残土処理工	BH積込 DT4 t 運搬 土砂	m3	2	
	処分費	土砂	m3	2	
	<本舗装復旧>				
	表層工 (車道)	車道 1.4m<b≤3.0m (タックコート) 再生密粒度アスコン t =4cm	m2	580	
	不陸整正		m2	580	
4. 配管工	<材料>				
	(配水管)				
	EF形HPPE φ75				
	EF直管	φ75×5,000	本	36	

数量総括表

配水管(1工区) 布設工事

費 目	種 別	規 格	単位	数 量	摘 要
	EF直管(切管用)	受け口付 φ75×5,000	本	16	
	EF直管(切管用)	プレーンエンド φ75×5,000	本	2	
	EFソケット	φ75	個	28	
	EF両受ベント	φ75×45°	個	23	
	EF両受ベント	φ75×22 1/2°	個	10	
	EF両受ベント	φ75×11 1/4°	個	1	
	EF片受ベント	φ75×45°	個	11	
	EF片受ベント	φ75×22 1/2°	個	2	
	EF片受ベント	φ75×11 1/4°	個	1	
	EFチーズ	φ75×φ75	個	2	
	EFチーズ	φ75×φ50	個	1	
	PE挿し口付鋳鉄製T字管	φ75×φ75 7.5K GF	個	5	
	フランジ短管	φ75×H400 7.5k RF-GF	個	4	
	補修弁	φ75×H150 7.5k RF-GF	個	4	
	空気弁(急速)	φ25 7.5k RF	個	4	
	フランジ 接合材	LSP型 φ75 7.5k GF SUS・BN	組	12	
	PE挿し口付ソフソール仕切弁	φ75 7.5k	基	12	
	PE挿し口付ソフソール仕切弁	φ50 7.5k	基		

数量総括表

配水管(1工区) 布設工事

費 目	種 別	規 格	単位	数 量	摘 要
	明示テープ	HPPE φ 75	m	318.1	
	管埋設シート	W=150mm 2倍折込	m	318.1	
	ロケーティングワイヤー		m	318.1	
	メカニカルキャップ	φ 75	個	6	
	(排水管)				
	EF形HPPE φ 50				
	EF直管(切管用)	受け口付 φ 75×5,000	本	1	
	EF両受ベント	φ 50×90°	個	2	
	EF片受ベント	φ 50×90°	個	1	
	PE挿し口付ソフソール仕切弁	φ 50 7.5k	基	1	
	明示テープ	HPPE φ 50	m	3	
	管埋設シート	W=150mm 2倍折込	m	3	
	ロケーティングワイヤー		m	3	
	<布設工>				
	(配水管)				
	HPPE φ 75				
	ポリエチレン管据付工	融着接合 φ 75	m	309	

数量総括表

配水管(1工区) 布設工事

費 目	種 別	規 格	単位	数 量	摘 要
	ポリエチレン管据付工	融着接合 φ 50	m		
	ポリエチレン管継手工	融着接合 (ソケット・両受部) φ 100	箇所		
	ポリエチレン管継手工	融着接合 (ソケット・両受部) φ 75	箇所	65	
	ポリエチレン管継手工	融着接合 (ソケット・両受部) φ 50	箇所		
	ポリエチレン管継手工	融着接合 (片受口部) φ 75	口	68	
	ポリエチレン管継手工	融着接合 (片受口部) φ 50	口		
	ポリエチレン管切断工	φ 100	口		
	ポリエチレン管切断工	φ 75	口	55	
	ポリエチレン管切断工	φ 50	口		
	フランジ継手工	φ 75 7.5k	口	12	
	メカニカル継手工	離脱防止付 φ 75	口	6	
	メカニカル継手工	離脱防止付 φ 50	口		
	継手取外し工	メカニカル継手 φ 75	口		
	空気弁設置工	φ 75	基	4	
	仕切弁設置工	φ 100	基		
	仕切弁設置工	φ 75	基	12	
	不断水連絡工	鋳鉄管用 φ 100×φ 100	箇所		
	不断水連絡工	鋳鉄管用 φ 75×φ 75	箇所		

数量総括表

配水管(1工区) 布設工事

費 目	種 別	規 格	単位	数 量	摘 要
	管路断水器設置工	φ 100 DIP用	箇所		
	管明テープ 工	HPPE φ 100	m		
	管明テープ 工	HPPE φ 75	m	318.1	
	管明テープ 工	HPPE φ 50	m		
	埋設表示シート取付工	W=15cm, タブル, 50m/巻	m	318.1	
	ロケティンクワイヤー取付工		m	318.1	
	(排水管)				
	HPPE φ 50				
	ポリエチレン管据付工	融着接合 φ 50	m	2.2	
	ポリエチレン管据付工	融着接合 φ 100	m		
	ポリエチレン管据付工	融着接合 φ 75	m		
	ポリエチレン管継手工	融着接合 (ソケット・両受部) φ 50	箇所	2	
	ポリエチレン管継手工	融着接合 (ソケット・両受部) φ 100	箇所		
	ポリエチレン管継手工	融着接合 (ソケット・両受部) φ 75	箇所		
	ポリエチレン管継手工	融着接合 (片受口部) φ 50	口	2	
	ポリエチレン管継手工	融着接合 (片受口部) φ 75	口		
	ポリエチレン管切断工	φ 150	口		
	ポリエチレン管切断工	φ 100	口		

数量総括表

配水管(1工区) 布設工事

費 目	種 別	規 格	単位	数 量	摘 要
	ポリエチレン管切断工	φ 50	口	2	
	フランジ継手工	φ 100 7.5k	口		
	フランジ継手工	φ 75 7.5k	口		
	GX継手工	異形管部 φ 150	口		
	空気弁設置工	φ 75	基		
	仕切弁設置工	φ 50	基	1	
	仕切弁設置工	φ 100	基		
	不断水連絡工	铸铁管用 φ 100×φ 100	箇所		
	不断水連絡工	铸铁管用 φ 75×φ 75	箇所		
	管路断水器設置工	φ 100 DIP用	箇所		
	管路断水器設置工	φ 75 DIP用	箇所		
	管明テープ工	HPPE φ 50	m	3	
	管明テープ工	HPPE φ 100	m		
	管明テープ工	HPPE φ 50	m		
	埋設表示シート取付工	W=15cm, タップル, 50m/巻	m	3	
	ロケータンクワイヤ取付工		m	3	
	コンクリート削孔工	φ 75 L=100	箇所	1	

数量総括表

配水管(1工区) 布設工事

費 目	種 別	規 格	単位	数 量	摘 要
5. 土留工					
	軽量鋼矢板建込工・引抜工	両側分 機械力・矢板長2.0m	m	41	
	軽量鋼矢板建込工・引抜工	両側分 機械力・矢板長2.5m	m	21	
	軽量金属支保設置工・撤去工	1段	m	21	
	軽量金属支保設置工・撤去工	2段	m		
6. 弁室工					
材料	<仕切弁室材料>				
	鉄蓋	円形1号 H=150	個	13	
	上部壁	φ 250 H=150 NVK-25-150A	個	13	
	中部壁	φ 250 H=200 NVK-25-200B	個	26	
	中部壁	φ 250 H=300 NVK-25-300B	個		
	下部壁	φ 250/ φ 350 H=300 NVK-25-300C	個	13	
	底版	φ 350 H=70 NHVO-25-70S (KRE)	個	13	
	<空気弁室材料>				
	鉄蓋	円形3号 H=100 WORS-50G-10L-F1C	個	4	
	上部壁	φ 500 H=200 WO-50-200A Nツキ	個	4	

数量総括表

配水管(1工区) 布設工事

費 目	種 別	規 格	単位	数 量	摘 要
	中部壁	φ 500 H=100 NHV0-50-100B	個	4	
	下部壁	φ 500 H=200 NHV0-50-200CH	個	4	
	底版	φ 500 H=40 NHV0-50-40S (1/2)	個	4	
設置工	<仕切弁室設置工>				
	仕切弁筐設置工	円形1号 円形 250mm×H150	箇所	13	
	仕切弁筐設置工	樹脂製 上部壁 φ 250×H150	箇所	13	
	仕切弁筐設置工	樹脂製 中部壁 φ 250×H200	箇所	26	
	仕切弁筐設置工	樹脂製 中部壁 φ 250×H300	箇所		
	仕切弁筐設置工	樹脂製 下部壁 φ 250/ φ 350×H300	箇所	13	
	仕切弁筐設置工	樹脂製 底板 φ 350×H70	箇所	13	
	<空気弁室設置工>				
	空気弁筐設置工	円形3号 円形 500mm×H100	箇所	4	
	空気弁筐設置工	樹脂製 上部壁 φ 500×H200	箇所	4	
	空気弁筐設置工	樹脂製 中部壁 φ 500×H100	箇所	4.0	
	空気弁筐設置工	樹脂製 下部壁 φ 500×H200	箇所	4	
	空気弁筐設置工	樹脂製 底板 φ 500×H40	箇所	4	

数量総括表

配水管(1工区) 布設工事

費 目	種 別	規 格	単位	数 量	摘 要
7. 既設弁室撤去工					
	既設仕切弁室鉄蓋撤去	1号 φ 250	箇所	11	
	既設空気弁・消火栓室鉄蓋撤去	3号 φ 500	箇所	3	
8. 通水試験工					
	通水試験工	給水車なし φ 75～φ 50	日	0	
9. 試掘工					
	試掘工		箇所	8	
10. 安全対策工					
	交通誘導員		人	150	

数量総括表

配水管－消防(1工区) 布設工事

工 種	名 称	形 状 寸 法	単位	数 量	備 考
1. 配管(消防)材料					
	補修弁	φ 75×H150 7.5k RF-GF	個	2	
	フランジ短管	φ 75×H400 7.5k RF-GF	個	2	
	地下式単口消火栓	φ 75 7.5k RF	基	2	
	フランジ接合材	LSP型 φ 75 7.5k GF SUS・BN	組	6	
	消火栓ボックス	H=640			
	鉄蓋	円形3号 H=100	個	2	
	上部壁	φ 500 H=200	個	2	
	中部壁	φ 500 H=100	個	2	
	下部壁	φ 500 H=200	個	2	
	底板	φ 500 H=40	個	2	
2. 布設工					
	フランジ継手工	φ 75 7.5k	口	4	
	消火栓設置工	φ 75 地下式単口	基	2	
	<消火栓室>	H=640			
	消火栓筐設置工	円形3号 円形 500mm×H100	箇所	2	

[illegible]

土工集計表

(1/2)

[illegible]

土工集計表

(2/2)

[illegible]

土工延長集計表

項 目			延長												単位	計
名 称	形状寸法		配水管									排水管				
			B路線	C路線	D路線	E路線	F路線	G路線	H路線	I路線	J路線	B路線	G路線			
土工③-1	HPPE φ 75 D=0.70	土工長						0.5							m	0.5
土工③-2	HPPE φ 75 D=1.10	土工長	112.6	62.6	49.0	5.6	5.6	4.4			3.9				m	243.7
土工③-3	HPPE φ 75 D=1.16	土工長							4.6						m	4.6
土工③-4	HPPE φ 75 D=1.19	土工長								2.6					m	2.6
土工③-5	HPPE φ 75 D=1.21	土工長							2.9						m	2.9
土工③-6	HPPE φ 75 D=1.22	土工長								3.9					m	3.9
土工③-7	HPPE φ 75 D=1.29	土工長									4.2				m	4.2
土工④-1	HPPE φ 75 D=1.36	土工長													m	
土工④-2	HPPE φ 75 D=1.39	土工長	1.2												m	1.2
土工④-3	HPPE φ 75 D=1.45	土工長					0.9								m	0.9
土工④-4	HPPE φ 75 D=1.49	土工長	5.8												m	5.8
土工④-5	HPPE φ 75 D=1.58	土工長						2.4							m	2.4
土工④-6	HPPE φ 75 D=1.61	土工長							2.3						m	2.3
土工④-7	HPPE φ 75 D=1.63	土工長									3.2				m	3.2

土工④-8	HPPE φ 75 D=1.65	土工長	3.9		0.6											m	4.5
土工④-9	HPPE φ 75 D=1.72	土工長								2.5						m	2.5
土工④-10	HPPE φ 75 D=1.96	土工長	6.3													m	6.3
土工④-11	HPPE φ 75 D=1.97	土工長	4.7													m	4.7
土工排-3	HPPE φ 50 D=1.11	土工長										1.4	1.4			m	2.8
土工排-4	HPPE φ 50 D=0.15	土工長										0.5	0.5			m	1.0

土工 ③-1

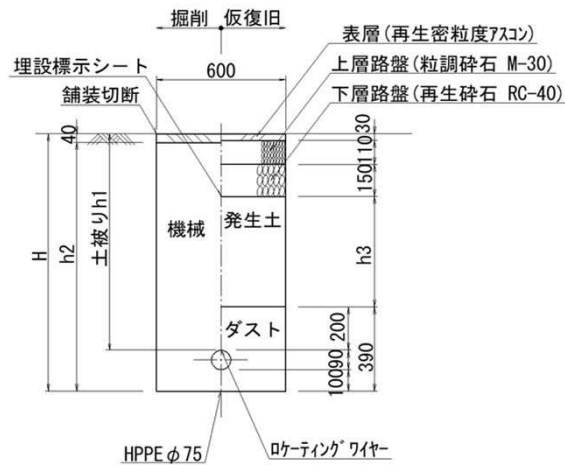
HPPE φ75

土工数量計算書

1.0式当り

略 図	工 種	細 別	1 m 当り・1 箇所当り		単位	数 量
			算 式	数 量		
HPPE φ75 土被り 0.70 m	<土工>					
土工延長 土工延長集計表より = 0.5 m	舗装切断工	As版カッター t=15cmまで	2 × 1.0	2.0	m	1.00
掘削深 = 0.70 + 0.09 + 0.10 - 0.04 = 0.850 m	As版取り壊し工	排出ガス対策型 直接掘削積込 BH0.28m3, t=10cm以下	0.600 × 1.0	0.600	m ²	0.30
埋戻深 ダスト = 0.20 + 0.09 + 0.10 = 0.390 m	As殻処理工		0.600 × 0.04	0.024	m ³	0.01
埋戻深 在来土 = 0.04 + 0.85 - 0.39 - 0.29 = 0.210 m	As殻処理工		0.01 × 2.35	0.024	t	0.02
	掘削工	土砂 BH0.28m3	0.600 × 0.850	0.510	m ³	0.26
	埋戻工	ダスト BH0.28m3 タンパ転圧	0.600 × 0.390 - 0.006 (配管控除)	0.228	m ³	0.11
	埋戻工	在来土 BH0.28m3 タンパ転圧	0.600 × 0.210	0.126	m ³	0.06
	在来土流用		在来土流用 0.07 × 0.9 = 0.06		m ³	0.07
	残土処理工		在来土流用 0.26 - 0.07 =	0.19	m ³	0.19
	As表層工(車道)	車道 人力 ハンド'ガイ'ト' 再生密粒度アスコン t=3cm、PK-3	0.600 × 1.0	0.600	m ²	0.30
	上層路盤工(車道)	人力 W=1.8m未満 タンパ転圧 粒度調整碎石M-30 t=11cm	0.600 × 1.0	0.600	m ²	0.30
	下層路盤工(車道)	人力 W=1.8m未満 タンパ転圧 再生碎石RC-40 t=15cm	0.600 × 1.0	0.600	m ²	0.30

土工③

市道(車道部)
φ75

2

埋戻控除 0.09 × π/4 = 0.006

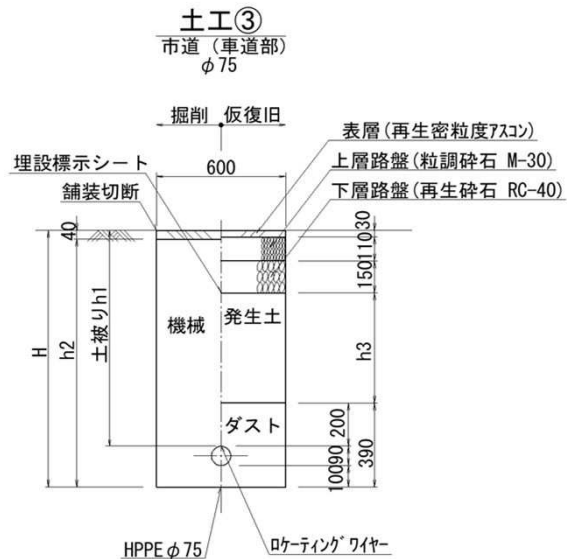
土工 ③-2

HPPE φ75

土工数量計算書

1.0式当り

略 図	工 種	細 別	1 m 当り・1 箇所当り		単位	数 量
			算 式	数 量		
HPPE φ75 土被り 1.10 m	<土工>					
土工延長 土工延長集計表より = 243.7 m	舗装切断工	As版カッター t=15cmまで	2 × 1.0	2.0	m	487.40
掘削深 = 1.10 + 0.09 + 0.10 - 0.04 = 1.250 m	As版取り壊し工	排出ガス対策型 直接掘削積込 BH0.28m3, t=10cm以下	0.600 × 1.0	0.600	m ²	146.22
埋戻深 ダスト = 0.20 + 0.09 + 0.10 = 0.390 m	As殻処理工		0.600 × 0.04	0.024	m ³	5.85
埋戻深 在来土 = 0.04 + 1.25 - 0.39 - 0.29 = 0.610 m	As殻処理工		5.85 × 2.35	13.748	t	13.75
	掘削工	土砂 BH0.28m3	0.600 × 1.250	0.750	m ³	182.78
	埋戻工	ダスト BH0.28m3 タンバ転圧	0.600 × 0.390 - 0.006 (配管控除)	0.228	m ³	55.56
	埋戻工	在来土 BH0.28m3 タンバ転圧	0.600 × 0.610	0.366	m ³	89.19
	在来土流用		在来土流用 99.10 × 0.9 = 89.19		m ³	99.10
	残土処理工		在来土流用 182.78 - 99.10 =	83.68	m ³	83.68
	As表層工(車道)	車道 人力 ハンドカイト 再生密粒度アスコン t=3cm、PK-3	0.600 × 1.0	0.600	m ²	146.22
	上層路盤工(車道)	人力 W=1.8m未満 タンバ転圧 粒度調整碎石M-30 t=11cm	0.600 × 1.0	0.600	m ²	146.22
	下層路盤工(車道)	人力 W=1.8m未満 タンバ転圧 再生碎石RC-40 t=15cm	0.600 × 1.0	0.600	m ²	146.22



埋戻控除 0.09 × π/4 = 0.006

土工 ③-3

HPPE φ75

土工数量計算書

1.0式当り

略 図	工 種	細 別	1 m 当り・1 箇所当り		単位	数 量
			算 式	数 量		
HPPE φ75 土被り 1.16 m	<土工>					
土工延長 土工延長集計表より = 4.6 m	舗装切断工	As版カッター t=15cmまで	2 × 1.0	2.0	m	9.20
掘削深 = 1.16 + 0.09 + 0.10 - 0.04 = 1.310 m	As版取り壊し工	排出ガス対策型 直接掘削積込 BH0.28m3, t=10cm以下	0.600 × 1.0	0.600	m ²	2.76
埋戻深 ダスト = 0.20 + 0.09 + 0.10 = 0.390 m	As殻処理工		0.600 × 0.04	0.024	m ³	0.11
埋戻深 在来土 = 0.04 + 1.31 - 0.39 - 0.29 = 0.670 m	As殻処理工		0.11 × 2.35	0.259	t	0.26
	掘削工	土砂 BH0.28m3	0.600 × 1.310	0.786	m ³	3.62
	埋戻工	ダスト BH0.28m3 タンバ転圧	0.600 × 0.390 - 0.006 (配管控除)	0.228	m ³	1.05
	埋戻工	在来土 BH0.28m3 タンバ転圧	0.600 × 0.670	0.402	m ³	1.85
	在来土流用		在来土流用 2.06 × 0.9 = 1.85		m ³	2.06
	残土処理工		在来土流用 3.62 - 2.06 =	1.56	m ³	1.56
	As表層工(車道)	車道 人力 ハンドカイト 再生密粒度アスコン t=3cm、PK-3	0.600 × 1.0	0.600	m ²	2.76
	上層路盤工(車道)	人力 W=1.8m未満 タンバ転圧 粒度調整碎石M-30 t=11cm	0.600 × 1.0	0.600	m ²	2.76
	下層路盤工(車道)	人力 W=1.8m未満 タンバ転圧 再生碎石RC-40 t=15cm	0.600 × 1.0	0.600	m ²	2.76

土工③
市道(車道部)
φ75

2
埋戻控除 0.09 × π/4 = 0.006

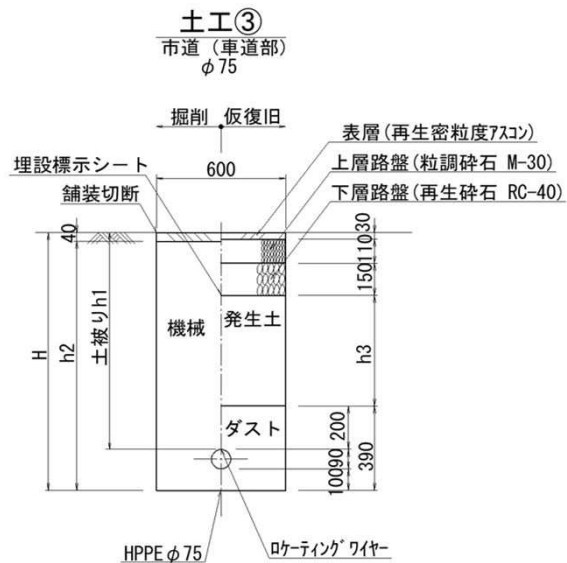
土工 ③-4

HPPE φ75

土工数量計算書

1.0式当り

略 図	工 種	細 別	1 m 当り・1 箇所当り		単位	数 量
			算 式	数 量		
HPPE φ75 土被り 1.19 m	<土工>					
土工延長 土工延長集計表より = 2.6 m	舗装切断工	As版カッター t=15cmまで	2 × 1.0	2.0	m	5.20
掘削深 = 1.19 + 0.09 + 0.10 - 0.04 = 1.340 m	As版取り壊し工	排出ガス対策型 直接掘削積込 BH0.28m3, t=10cm以下	0.600 × 1.0	0.600	m ²	1.56
埋戻深 ダスト = 0.20 + 0.09 + 0.10 = 0.390 m	As殻処理工		0.600 × 0.04	0.024	m ³	0.06
埋戻深 在来土 = 0.04 + 1.34 - 0.39 - 0.29 = 0.700 m	As殻処理工		0.06 × 2.35	0.141	t	0.14
	掘削工	土砂 BH0.28m3	0.600 × 1.340	0.804	m ³	2.09
	埋戻工	ダスト BH0.28m3 タンパ転圧	0.600 × 0.390 - 0.006 (配管控除)	0.228	m ³	0.59
	埋戻工	在来土 BH0.28m3 タンパ転圧	0.600 × 0.700	0.420	m ³	1.09
	在来土流用		在来土流用 1.21 × 0.9 = 1.09		m ³	1.21
	残土処理工		在来土流用 2.09 - 1.21 =	0.88	m ³	0.88
	As表層工(車道)	車道 人力 ハンドカイト 再生密粒度アスコン t=3cm、PK-3	0.600 × 1.0	0.600	m ²	1.56
	上層路盤工(車道)	人力 W=1.8m未満 タンパ転圧 粒度調整砕石M-30 t=11cm	0.600 × 1.0	0.600	m ²	1.56
	下層路盤工(車道)	人力 W=1.8m未満 タンパ転圧 再生砕石RC-40 t=15cm	0.600 × 1.0	0.600	m ²	1.56



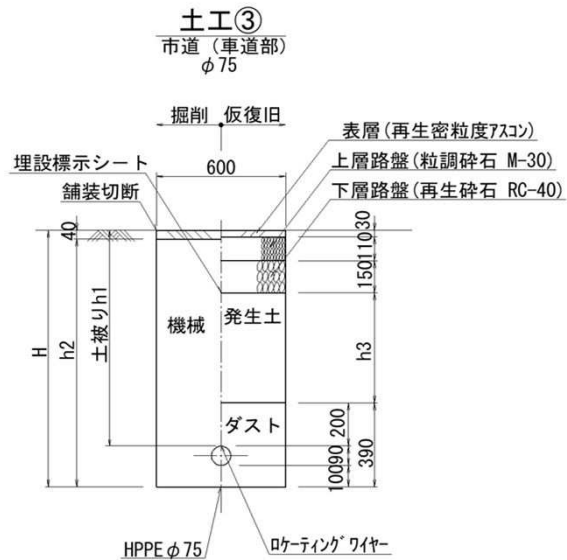
土工 ③-5

HPPE φ75

土工数量計算書

1.0式当り

略 図	工 種	細 別	1 m 当り・1 箇所当り		単位	数 量
			算 式	数 量		
HPPE φ75 土被り 1.21 m	<土工>					
土工延長 土工延長集計表より = 2.9 m	舗装切断工	As版カッター t=15cmまで	2 × 1.0	2.0	m	5.80
掘削深 = 1.21 + 0.09 + 0.10 - 0.04 = 1.360 m	As版取り壊し工	排出ガス対策型 直接掘削積込 BH0.28m3, t=10cm以下	0.600 × 1.0	0.600	m ²	1.74
埋戻深 ダスト = 0.20 + 0.09 + 0.10 = 0.390 m	As殻処理工		0.600 × 0.04	0.024	m ³	0.07
埋戻深 在来土 = 0.04 + 1.36 - 0.39 - 0.29 = 0.720 m	As殻処理工		0.07 × 2.35	0.165	t	0.17
	掘削工	土砂 BH0.28m3	H 0.600 × 1.360	0.816	m ³	2.37
	埋戻工	ダスト BH0.28m3 タンバ転圧	0.600 × 0.390 - 0.006 (配管控除)	0.228	m ³	0.66
	埋戻工	在来土 BH0.28m3 タンバ転圧	0.600 × 0.720	0.432	m ³	1.25
	在来土流用		在来土流用 1.39 × 0.9 = 1.25		m ³	1.39
	残土処理工		在来土流用 2.37 - 1.39 =	0.98	m ³	0.98
	As表層工(車道)	車道 人力 ハンドカイト 再生密粒度アスコン t=3cm、PK-3	0.600 × 1.0	0.600	m ²	1.74
	上層路盤工(車道)	人力 W=1.8m未満 タンバ転圧 粒度調整砕石M-30 t=11cm	0.600 × 1.0	0.600	m ²	1.74
	下層路盤工(車道)	人力 W=1.8m未満 タンバ転圧 再生砕石RC-40 t=15cm	0.600 × 1.0	0.600	m ²	1.74



埋戻控除 0.09 × π/4 = 0.006

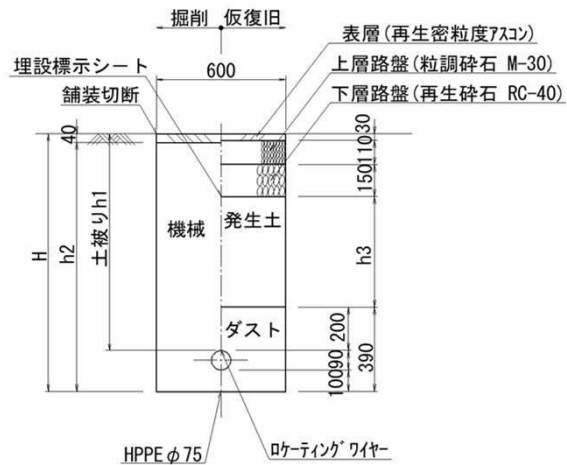
土工 ③-6

HPPE φ75

土工数量計算書

1.0式当り

略 図	工 種	細 別	1 m 当り・1 箇所当り		単位	数 量
			算 式	数 量		
HPPE φ75 土被り 1.22 m	<土工>					
土工延長 土工延長集計表より = 3.9 m	舗装切断工	As版カッター t=15cmまで	2 × 1.0	2.0	m	7.80
掘削深 = 1.22 + 0.09 + 0.10 - 0.04 = 1.370 m	As版取り壊し工	排出ガス対策型 直接掘削積込 BH0.28m3, t=10cm以下	0.600 × 1.0	0.600	m ²	2.34
埋戻深 ダスト = 0.20 + 0.09 + 0.10 = 0.390 m	As殻処理工		0.600 × 0.04	0.024	m ³	0.09
埋戻深 在来土 = 0.04 + 1.37 - 0.39 - 0.29 = 0.730 m	As殻処理工		0.09 × 2.35	0.212	t	0.21
	掘削工	土砂 BH0.28m3	0.600 × 1.370	0.822	m ³	3.21
	埋戻工	ダスト BH0.28m3 タンパ転圧	0.600 × 0.390 - 0.006 (配管控除)	0.228	m ³	0.89
	埋戻工	在来土 BH0.28m3 タンパ転圧	0.600 × 0.730	0.438	m ³	1.71
	在来土流用		在来土流用 1.90 × 0.9 = 1.71		m ³	1.90
	残土処理工		在来土流用 3.21 - 1.90 =	1.31	m ³	1.31
	As表層工(車道)	車道 人力 ハンドカイト 再生密粒度アスコン t=3cm、PK-3	0.600 × 1.0	0.600	m ²	2.34
	上層路盤工(車道)	人力 W=1.8m未満 タンパ転圧 粒度調整碎石M-30 t=11cm	0.600 × 1.0	0.600	m ²	2.34
	下層路盤工(車道)	人力 W=1.8m未満 タンパ転圧 再生碎石RC-40 t=15cm	0.600 × 1.0	0.600	m ²	2.34

土工③
市道(車道部)
φ75

2

埋戻控除 0.09 × π/4 = 0.006

土工 ③-7

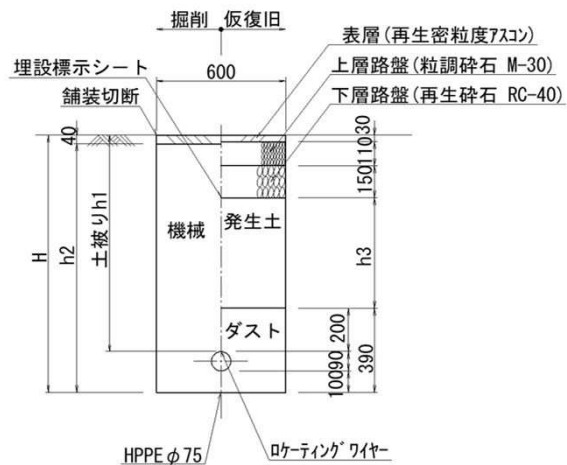
HPPE φ75

土工数量計算書

1.0式当り

略 図	工 種	細 別	1 m 当り・1 箇所当り		単位	数 量
			算 式	数 量		
HPPE φ75 土被り 1.29 m	<土工>					
土工延長 土工延長集計表より = 4.2 m	舗装切断工	As版カッター t=15cmまで	2 × 1.0	2.0	m	8.40
掘削深 = 1.29 + 0.09 + 0.10 - 0.04 = 1.440 m	As版取り壊し工	排出ガス対策型 直接掘削積込 BH0.28m3, t=10cm以下	0.600 × 1.0	0.600	m ²	2.52
埋戻深 ダスト = 0.20 + 0.09 + 0.10 = 0.390 m	As殻処理工		0.600 × 0.04	0.024	m ³	0.10
埋戻深 在来土 = 0.04 + 1.44 - 0.39 - 0.29 = 0.800 m	As殻処理工		0.10 × 2.35	0.235	t	0.24
	掘削工	土砂 BH0.28m3	0.600 × 1.440	0.864	m ³	3.63
	埋戻工	ダスト BH0.28m3 タンバ転圧	0.600 × 0.390 - 0.006 (配管控除)	0.228	m ³	0.96
	埋戻工	在来土 BH0.28m3 タンバ転圧	0.600 × 0.800	0.480	m ³	2.02
	在来土流用		在来土流用 2.24 × 0.9 = 2.02		m ³	2.24
	残土処理工		在来土流用 3.63 - 2.24 =	1.39	m ³	1.39
	As表層工(車道)	車道 人力 ハンドカイク 再生密粒度アスコン t=3cm、PK-3	0.600 × 1.0	0.600	m ²	2.52
	上層路盤工(車道)	人力 W=1.8m未満 タンバ転圧 粒度調整碎石M-30 t=11cm	0.600 × 1.0	0.600	m ²	2.52
	下層路盤工(車道)	人力 W=1.8m未満 タンバ転圧 再生碎石RC-40 t=15cm	0.600 × 1.0	0.600	m ²	2.52

土工③

市道(車道部)
φ75

2

埋戻控除 0.09 × π / 4 = 0.006

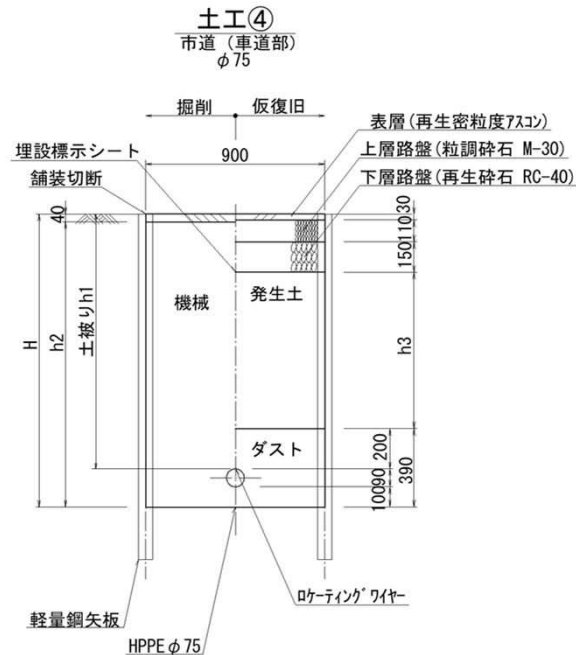
土工 ④-1

HPPE φ75

土工数量計算書

1.0式当り

略 図	工 種	細 別	1 m 当り・1 箇所当り		単位	数 量
			算 式	数 量		
HPPE φ75 土被り 1.36 m	<土工>					
土工延長 土工延長集計表より = m	舗装切断工	As版カッター t=15cmまで	2 × 1.0	2.0	m	—
掘削深 = 1.36 + 0.09 + 0.10 - 0.04 = 1.510 m	As版取り壊し工	排出ガス対策型 直接掘削積込 BH0.28m3, t=10cm以下	0.900 × 1.0	0.900	m ²	—
埋戻深 ダスト = 0.20 + 0.09 + 0.10 = 0.390 m	As殻処理工		0.900 × 0.04	0.036	m ³	—
埋戻深 在来土 = 0.04 + 1.51 - 0.39 - 0.29 = 0.870 m	As殻処理工		× 2.35		t	—
	掘削工	土砂 BH0.28m3	H 0.900 × 1.510	1.359	m ³	—
	埋戻工	ダスト BH0.28m3 タンパ転圧	0.900 × 0.390 - 0.006 (配管控除)	0.345	m ³	—
	埋戻工	在来土 BH0.28m3 タンパ転圧	0.900 × 0.870	0.783	m ³	—
	在来土流用		在来土流用 × 0.9 = —		m ³	—
	残土処理工		在来土流用 — - =		m ³	—
	As表層工(車道)	車道 人力 ハンドカイト 再生密粒度アスコン t=3cm、PK-3	0.900 × 1.0	0.900	m ²	—
	上層路盤工(車道)	人力 W=1.8m未満 タンパ転圧 粒度調整砕石M-30 t=11cm	0.900 × 1.0	0.900	m ²	—
	下層路盤工(車道)	人力 W=1.8m未満 タンパ転圧 再生砕石RC-40 t=15cm	0.900 × 1.0	0.900	m ²	—



2

埋戻控除 0.09 × π/4 = 0.006

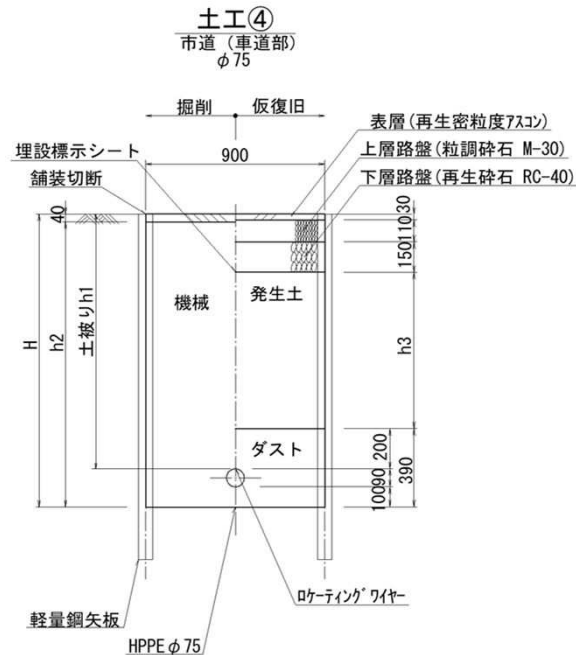
土工 ④-2

HPPE φ75

土工数量計算書

1.0式当り

略 図	工 種	細 別	1 m 当り・1 箇所当り		単位	数 量
			算 式	数 量		
HPPE φ75 土被り 1.39 m	<土工>					
土工延長 土工延長集計表より = 1.2 m	舗装切断工	As版カッター t=15cmまで	2 × 1.0	2.0	m	2.40
掘削深 = 1.39 + 0.09 + 0.10 - 0.04 = 1.540 m	As版取り壊し工	排出ガス対策型 直接掘削積込 BH0.28m3, t=10cm以下	0.900 × 1.0	0.900	m ²	1.08
埋戻深 ダスト = 0.20 + 0.09 + 0.10 = 0.390 m	As殻処理工		0.900 × 0.04	0.036	m ³	0.04
埋戻深 在来土 = 0.04 + 1.54 - 0.39 - 0.29 = 0.900 m	As殻処理工		0.04 × 2.35	0.094	t	0.09
	掘削工	土砂 BH0.28m3	H 0.900 × 1.540	1.386	m ³	1.66
	埋戻工	ダスト BH0.28m3 タンパ転圧	0.900 × 0.390 - 0.006 (配管控除)	0.345	m ³	0.41
	埋戻工	在来土 BH0.28m3 タンパ転圧	0.900 × 0.900	0.810	m ³	0.97
	在来土流用		在来土流用 1.08 × 0.9 = 0.97		m ³	1.08
	残土処理工		在来土流用 1.66 - 1.08 =	0.58	m ³	0.58
	As表層工(車道)	車道 人力 ハンドカイト 再生密粒度アスコン t=3cm、PK-3	0.900 × 1.0	0.900	m ²	1.08
	上層路盤工(車道)	人力 W=1.8m未満 タンパ転圧 粒度調整砕石M-30 t=11cm	0.900 × 1.0	0.900	m ²	1.08
	下層路盤工(車道)	人力 W=1.8m未満 タンパ転圧 再生砕石RC-40 t=15cm	0.900 × 1.0	0.900	m ²	1.08



2

埋戻控除 0.09 × π/4 = 0.006

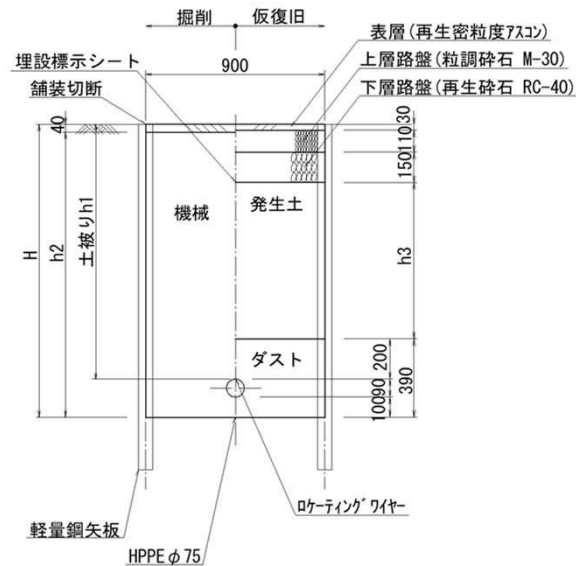
土工 ④-3

HPPE φ75

土工数量計算書

1.0式当り

略 図	工 種	細 別	1 m 当り・1 箇所当り		単位	数 量
			算 式	数 量		
HPPE φ75 土被り 1.45 m	<土工>					
土工延長 土工延長集計表より = 0.9 m	舗装切断工	As版カッター t=15cmまで	2 × 1.0	2.0	m	1.80
掘削深 = 1.45 + 0.09 + 0.10 - 0.04 = 1.600 m	As版取り壊し工	排出ガス対策型 直接掘削積込 BH0.28m3, t=10cm以下	0.900 × 1.0	0.900	m ²	0.81
埋戻深 ダスト = 0.20 + 0.09 + 0.10 = 0.390 m	As殻処理工		0.900 × 0.04	0.036	m ³	0.03
埋戻深 在来土 = 0.04 + 1.60 - 0.39 - 0.29 = 0.960 m	As殻処理工		0.03 × 2.35	0.071	t	0.07
	掘削工	土砂 BH0.28m3	0.900 × 1.600	1.440	m ³	1.30
	埋戻工	ダスト BH0.28m3 タンバ転圧	0.900 × 0.390 - 0.006 (配管控除)	0.345	m ³	0.31
	埋戻工	在来土 BH0.28m3 タンバ転圧	0.900 × 0.960	0.864	m ³	0.78
	在来土流用		在来土流用 0.87 × 0.9 = 0.78		m ³	0.87
	残土処理工		在来土流用 1.30 - 0.87 =	0.43	m ³	0.43
	As表層工(車道)	車道 人力 ハンドカッター 再生密粒度アスコン t=3cm、PK-3	0.900 × 1.0	0.900	m ²	0.81
	上層路盤工(車道)	人力 W=1.8m未満 タンバ転圧 粒度調整砕石M-30 t=11cm	0.900 × 1.0	0.900	m ²	0.81
	下層路盤工(車道)	人力 W=1.8m未満 タンバ転圧 再生砕石RC-40 t=15cm	0.900 × 1.0	0.900	m ²	0.81

土工④
市道(車道部)
φ75

2

埋戻控除 0.09 × π/4 = 0.006

土工 ④-4

HPPE φ75

土工数量計算書

1.0式当り

略 図	工 種	細 別	1 m 当り・1 箇所当り		単位	数 量
			算 式	数 量		
HPPE φ75 土被り 1.49 m	<土工>					
土工延長 土工延長集計表より = 5.8 m	舗装切断工	As版カッター t=15cmまで	2 × 1.0	2.0	m	11.60
掘削深 = 1.49 + 0.09 + 0.10 - 0.04 = 1.640 m	As版取り壊し工	排出ガス対策型 直接掘削積込 BH0.28m3, t=10cm以下	0.900 × 1.0	0.900	m ²	5.22
埋戻深 ダスト = 0.20 + 0.09 + 0.10 = 0.390 m	As殻処理工		0.900 × 0.04	0.036	m ³	0.21
埋戻深 在来土 = 0.04 + 1.64 - 0.39 - 0.29 = 1.000 m	As殻処理工		0.21 × 2.35	0.494	t	0.49
<p>土工④ 市道（車道部） φ75</p>	掘削工	土砂 BH0.28m3	H 0.900 × 1.640	1.476	m ³	8.56
	埋戻工	ダスト BH0.28m3 タンバ転圧	0.900 × 0.390 - 0.006 (配管控除)	0.345	m ³	2.00
	埋戻工	在来土 BH0.28m3 タンバ転圧	0.900 × 1.000	0.900	m ³	5.22
	在来土流用		在来土流用 5.80 × 0.9 = 5.22		m ³	5.80
	残土処理工		在来土流用 8.56 - 5.80 =	2.76	m ³	2.76
	As表層工(車道)	車道 人力 ハンドカイト 再生密粒度アスコン t=3cm、PK-3	0.900 × 1.0	0.900	m ²	5.22
	上層路盤工(車道)	人力 W=1.8m未満 タンバ転圧 粒度調整碎石M-30 t=11cm	0.900 × 1.0	0.900	m ²	5.22
	下層路盤工(車道)	人力 W=1.8m未満 タンバ転圧 再生碎石RC-40 t=15cm	0.900 × 1.0	0.900	m ²	5.22

2

埋戻控除 0.09 × π/4 = 0.006

土工 ④-5

HPPE φ75

土工数量計算書

1.0式当り

略 図	工 種	細 別	1 m 当り・1 箇所当り		単位	数 量
			算 式	数 量		
HPPE φ75 土被り 1.58 m	<土工>					
土工延長 土工延長集計表より = 2.4 m	舗装切断工	As版カッター t=15cmまで	2 × 1.0	2.0	m	4.80
掘削深 = 1.58 + 0.09 + 0.10 - 0.04 = 1.730 m	As版取り壊し工	排出ガス対策型 直接掘削積込 BH0.28m3, t=10cm以下	0.900 × 1.0	0.900	m ²	2.16
埋戻深 ダスト = 0.20 + 0.09 + 0.10 = 0.390 m	As殻処理工		0.900 × 0.04	0.036	m ³	0.09
埋戻深 在来土 = 0.04 + 1.73 - 0.39 - 0.29 = 1.090 m	As殻処理工		0.09 × 2.35	0.212	t	0.21
<p>土工④ 市道（車道部） φ75</p> <p>2</p>	掘削工	土砂 BH0.28m3	H 0.900 × 1.730	1.557	m ³	3.74
	埋戻工	ダスト BH0.28m3 タンパ転圧	0.900 × 0.390 - 0.006 (配管控除)	0.345	m ³	0.83
	埋戻工	在来土 BH0.28m3 タンパ転圧	0.900 × 1.090	0.981	m ³	2.35
	在来土流用		在来土流用 2.61 × 0.9 = 2.35		m ³	2.61
	残土処理工		在来土流用 3.74 - 2.61 =	1.13	m ³	1.13
	As表層工(車道)	車道 人力 ハンドカイト 再生密粒度アスコン t=3cm、PK-3	0.900 × 1.0	0.900	m ²	2.16
	上層路盤工(車道)	人力 W=1.8m未満 タンパ転圧 粒度調整碎石M-30 t=11cm	0.900 × 1.0	0.900	m ²	2.16
	下層路盤工(車道)	人力 W=1.8m未満 タンパ転圧 再生碎石RC-40 t=15cm	0.900 × 1.0	0.900	m ²	2.16
埋戻控除 0.09 × π/4 = 0.006						

土工 ④-6

HPPE φ75

土工数量計算書

1.0式当り

略 図	工 種	細 別	1 m 当り・1 箇所当り		単位	数 量
			算 式	数 量		
HPPE φ75 土被り 1.61 m	<土工>					
土工延長 土工延長集計表より = 2.3 m	舗装切断工	As版カッター t=15cmまで	2 × 1.0	2.0	m	4.60
掘削深 = 1.61 + 0.09 + 0.10 - 0.04 = 1.760 m	As版取り壊し工	排出ガス対策型 直接掘削積込 BH0.28m3, t=10cm以下	0.900 × 1.0	0.900	m ²	2.07
埋戻深 ダスト = 0.20 + 0.09 + 0.10 = 0.390 m	As殻処理工		0.900 × 0.04	0.036	m ³	0.08
埋戻深 在来土 = 0.04 + 1.76 - 0.39 - 0.29 = 1.120 m	As殻処理工		0.08 × 2.35	0.188	t	0.19
<p>土工④ 市道（車道部） φ75</p> <p>2</p>	掘削工	土砂 BH0.28m3	H 0.900 × 1.760	1.584	m ³	3.64
	埋戻工	ダスト BH0.28m3 タンパ転圧	0.900 × 0.390 - 0.006 (配管控除)	0.345	m ³	0.79
	埋戻工	在来土 BH0.28m3 タンパ転圧	0.900 × 1.120	1.008	m ³	2.32
	在来土流用		在来土流用 2.58 × 0.9 = 2.32		m ³	2.58
	残土処理工		在来土流用 3.64 - 2.58 =	1.06	m ³	1.06
	As表層工(車道)	車道 人力 ハンドカイト 再生密粒度アスコン t=3cm、PK-3	0.900 × 1.0	0.900	m ²	2.07
	上層路盤工(車道)	人力 W=1.8m未満 タンパ転圧 粒度調整碎石M-30 t=11cm	0.900 × 1.0	0.900	m ²	2.07
埋戻控除 0.09 × π/4 = 0.006	下層路盤工(車道)	人力 W=1.8m未満 タンパ転圧 再生碎石RC-40 t=15cm	0.900 × 1.0	0.900	m ²	2.07

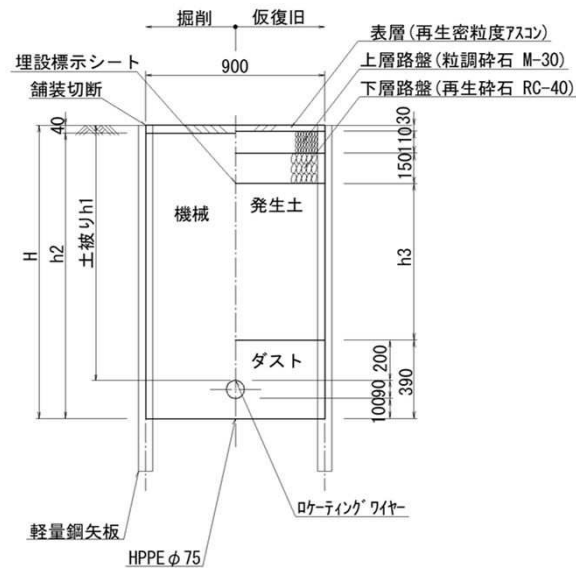
土工 ④-7

HPPE φ75

土工数量計算書

1.0式当り

略 図	工 種	細 別	1 m 当り・1 箇所当り		単位	数 量
			算 式	数 量		
HPPE φ75 土被り 1.63 m	<土工>					
土工延長 土工延長集計表より = 3.2 m	舗装切断工	As版カッター t=15cmまで	2 × 1.0	2.0	m	6.40
掘削深 = 1.63 + 0.09 + 0.10 - 0.04 = 1.780 m	As版取り壊し工	排出ガス対策型 直接掘削積込 BH0.28m3, t=10cm以下	0.900 × 1.0	0.900	m ²	2.88
埋戻深 ダスト = 0.20 + 0.09 + 0.10 = 0.390 m	As殻処理工		0.900 × 0.04	0.036	m ³	0.12
埋戻深 在来土 = 0.04 + 1.78 - 0.39 - 0.29 = 1.140 m	As殻処理工		0.12 × 2.35	0.282	t	0.28
	掘削工	土砂 BH0.28m3	0.900 × 1.780	1.602	m ³	5.13
	埋戻工	ダスト BH0.28m3 タンバ転圧	0.900 × 0.390 - 0.006 (配管控除)	0.345	m ³	1.10
	埋戻工	在来土 BH0.28m3 タンバ転圧	0.900 × 1.140	1.026	m ³	3.28
	在来土流用		在来土流用 3.64 × 0.9 = 3.28		m ³	3.64
	残土処理工		在来土流用 5.13 - 3.64 =	1.49	m ³	1.49
	As表層工(車道)	車道 人力 ハンドカイト 再生密粒度アスコン t=3cm、PK-3	0.900 × 1.0	0.900	m ²	2.88
	上層路盤工(車道)	人力 W=1.8m未満 タンバ転圧 粒度調整砕石M-30 t=11cm	0.900 × 1.0	0.900	m ²	2.88
	下層路盤工(車道)	人力 W=1.8m未満 タンバ転圧 再生砕石RC-40 t=15cm	0.900 × 1.0	0.900	m ²	2.88

土工④
市道(車道部)
φ75

2

埋戻控除 0.09 × π/4 = 0.006

土工 ④-8

HPPE φ75

土工数量計算書

1.0式当り

略 図	工 種	細 別	1 m 当り・1 箇所当り		単位	数 量
			算 式	数 量		
HPPE φ75 土被り 1.65 m	<土工>					
土工延長 土工延長集計表より = 4.5 m	舗装切断工	As版カッター t=15cmまで	2 × 1.0	2.0	m	9.00
掘削深 = 1.65 + 0.09 + 0.10 - 0.04 = 1.800 m	As版取り壊し工	排出ガス対策型 直接掘削積込 BH0.28m3, t=10cm以下	0.900 × 1.0	0.900	m ²	4.05
埋戻深 ダスト = 0.20 + 0.09 + 0.10 = 0.390 m	As殻処理工		0.900 × 0.04	0.036	m ³	0.16
埋戻深 在来土 = 0.04 + 1.80 - 0.39 - 0.29 = 1.160 m	As殻処理工		0.16 × 2.35	0.376	t	0.38
<p>土工④ 市道（車道部） φ75</p> <p>2</p>	掘削工	土砂 BH0.28m3	H 0.900 × 1.800	1.620	m ³	7.29
	埋戻工	ダスト BH0.28m3 タンバ転圧	0.900 × 0.390 - 0.006 (配管控除)	0.345	m ³	1.55
	埋戻工	在来土 BH0.28m3 タンバ転圧	0.900 × 1.160	1.044	m ³	4.70
	在来土流用		在来土流用 5.22 × 0.9 = 4.70		m ³	5.22
	残土処理工		在来土流用 7.29 - 5.22 =	2.07	m ³	2.07
	As表層工(車道)	車道 人力 ハンドカイト 再生密粒度アスコン t=3cm、PK-3	0.900 × 1.0	0.900	m ²	4.05
	上層路盤工(車道)	人力 W=1.8m未満 タンバ転圧 粒度調整碎石M-30 t=11cm	0.900 × 1.0	0.900	m ²	4.05
埋戻控除 0.09 × π/4 = 0.006	下層路盤工(車道)	人力 W=1.8m未満 タンバ転圧 再生碎石RC-40 t=15cm	0.900 × 1.0	0.900	m ²	4.05

土工 ④-9

HPPE ϕ 75

土 工 数 量 計 算 書

1.0式当り

略 図	工 種	細 別	1 m 当り・1箇所当り		単位	数 量
			算 式	数 量		
HPPE φ 75 土被り 1.72 m	<土工>					
土工延長 土工延長集計表より = 2.5 m	舗装切断工	As版カッター t=15cmまで	2 × 1.0	2.0	m	5.00
掘削深 = 1.72 + 0.09 + 0.10 - 0.04 = 1.870 m	As版取り壊し工	排出ガス対策型 直接掘削積込 BH0.28m3, t=10cm以下	0.900 × 1.0	0.900	m ²	2.25
埋戻深 ダスト = 0.20 + 0.09 + 0.10 = 0.390 m	As殻処理工		0.900 × 0.04	0.036	m ³	0.09
埋戻深 在来土 = 0.04 + 1.87 - 0.39 - 0.29 = 1.230 m	As殻処理工		0.09 × 2.35	0.212	t	0.21
<div>土工④ 市道（車道部） φ 75</div> <div><div>掘削</div><div>仮復旧</div></div> <div>表層（再生密粒度アスコン） 上層路盤（粒調碎石 M-30） 下層路盤（再生碎石 RC-40）</div> <div>埋設標示シート 舗装切断</div> <div>40</div> <div>900</div> <div>発生土</div> <div>150</div> <div>1030</div> <div>機械</div> <div>h2</div> <div>土被りh1</div> <div>h3</div> <div>ダスト</div> <div>100</div> <div>90</div> <div>200</div> <div>390</div> <div>軽量鋼矢板</div> <div>HPPE φ 75</div> <div>ローディングワイヤ</div> <td>掘削工</td> <td>土砂 BH0.28m3</td> <td>H 0.900 × 1.870</td> <td>1.683</td> <td>m³</td> <td>4.21</td>	掘削工	土砂 BH0.28m3	H 0.900 × 1.870	1.683	m ³	4.21
	埋戻工	ダスト BH0.28m3 タンパ転圧	- 0.006（配管控除）	0.345	m ³	0.86
	埋戻工	在来土 BH0.28m3 タンパ転圧	0.900 × 1.230	1.107	m ³	2.77
	在来土流用		在来土流用 3.08 × 0.9 = 2.77		m ³	3.08
	残土処理工		在来土流用 4.21 - 3.08 =	1.13	m ³	1.13
	As表層工(車道)	車道 人力 ハンドガバ 再生密粒度アスコン t=3cm、PK-3	0.900 × 1.0	0.900	m ²	2.25
	上層路盤工(車道)	人力 W=1.8m未満 タンパ転圧 粒度調整碎石M-30 t=11cm	0.900 × 1.0	0.900	m ²	2.25
下層路盤工(車道)	人力 W=1.8m未満 タンパ転圧 再生碎石RC-40 t=15cm	0.900 × 1.0	0.900	m ²	2.25	

2

埋戻制御 0.09 × π / 4 = 0.006

土工 ④-10

HPPE φ75

土工数量計算書

1.0式当り

略 図	工 種	細 別	1 m 当り・1 箇所当り		単位	数 量
			算 式	数 量		
HPPE φ75 土被り 1.96 m	<土工>					
土工延長 土工延長集計表より = 6.3 m	舗装切断工	As版カッター t=15cmまで	2 × 1.0	2.0	m	12.60
掘削深 = 1.96 + 0.09 + 0.10 - 0.04 = 2.110 m	As版取り壊し工	排出ガス対策型 直接掘削積込 BH0.28m3, t=10cm以下	0.900 × 1.0	0.900	m ²	5.67
埋戻深 ダスト = 0.20 + 0.09 + 0.10 = 0.390 m	As殻処理工		0.900 × 0.04	0.036	m ³	0.23
埋戻深 在来土 = 0.04 + 2.11 - 0.39 - 0.29 = 1.470 m	As殻処理工		0.23 × 2.35	0.541	t	0.54
土工④ 市道(車道部) φ75	掘削工	土砂 BH0.28m3	H 0.900 × 2.110	1.899	m ³	11.96
埋設標示シート 埋設切断 40 h2 土被りh1 機械 発生土 15011030 h3 ダスト 10090200 390 軽量鋼矢板 HPPE φ75 ケーシングワイヤ	埋戻工	ダスト BH0.28m3 タンバ転圧	0.900 × 0.390 - 0.006 (配管控除)	0.345	m ³	2.17
	埋戻工	在来土 BH0.28m3 タンバ転圧	0.900 × 1.470	1.323	m ³	8.33
	在来土流用		在来土流用 9.26 × 0.9 = 8.33		m ³	9.26
	残土処理工		在来土流用 11.96 - 9.26 =	2.70	m ³	2.70
	As表層工(車道)	車道 人力 ハンドカイト 再生密粒度アスコン t=3cm、PK-3	0.900 × 1.0	0.900	m ²	5.67
	上層路盤工(車道)	人力 W=1.8m未満 タンバ転圧 粒度調整砕石M-30 t=11cm	0.900 × 1.0	0.900	m ²	5.67
	下層路盤工(車道)	人力 W=1.8m未満 タンバ転圧 再生砕石RC-40 t=15cm	0.900 × 1.0	0.900	m ²	5.67

2

埋戻控除 0.09 × π/4 = 0.006

1.0式当り

略 図				工 種	細 別	1 m 当り・1 箇所当り		単位	数 量
						算 式	数 量		
HPPE φ 75 土被り 1.97 m				<土工>					
土工延長	土工延長集計表より = 4.7 m			舗装切断工	As版カッター t=15cmまで	2 × 1.0	2.0	m	9.40
掘削深	= 1.97 + 0.09 + 0.10 - 0.04 = 2.120 m			As版取り壊し工	排出ガス対策型 直接掘削積込 BH0.28m3, t=10cm以下	0.900 × 1.0	0.900	m ²	4.23
埋戻深	ダスト = 0.20 + 0.09 + 0.10 = 0.390 m			As殻処理工		0.900 × 0.04	0.036	m ³	0.17
埋戻深	在来土 = 0.04 + 2.12 - 0.39 - 0.29 = 1.480 m			As殻処理工		0.17 × 2.35	0.400	t	0.40
<div>土工④ 市道(車道部) φ75</div> <div><p>掘削 仮復旧</p><p>埋設標示シート 900</p><p>舗装切断</p><p>表層(再生密粒度アスコン) 上層路盤(粒調砕石 M-30) 下層路盤(再生砕石 RC-40)</p><p>機械 発生土</p><p>ダスト</p><p>軽量鋼矢板 HPPE φ75</p><p>ローディングワイヤー</p><p>150 1030 390</p><p>40</p><p>H h2 h1 土被りh1</p><p>200 200 390</p></div>				掘削工	土砂 BH0.28m3	H 0.900 × 2.120	1.908	m ³	8.97
				埋戻工	ダスト BH0.28m3 タンバ転圧	- 0.006 (配管控除)	0.345	m ³	1.62
				埋戻工	在来土 BH0.28m3 タンバ転圧	0.900 × 1.480	1.332	m ³	6.26
				在来土流用		在来土流用 6.96 × 0.9 = 6.26		m ³	6.96
				残土処理工		在来土流用 8.97 - 6.96 =	2.01	m ³	2.01
As表層工(車道)				車道 人力 ハンドガット 再生密粒度アスコン t=3cm、PK-3	0.900 × 1.0	0.900	m ²	4.23	
上層路盤工(車道)				人力 W=1.8m未満 タンバ転圧 粒度調整砕石M-30 t=11cm	0.900 × 1.0	0.900	m ²	4.23	
下層路盤工(車道)				人力 W=1.8m未満 タンバ転圧 再生砕石RC-40 t=15cm	0.900 × 1.0	0.900	m ²	4.23	

埋戻控除

2

0.09 × π / 4 = 0.006

土工 排-3

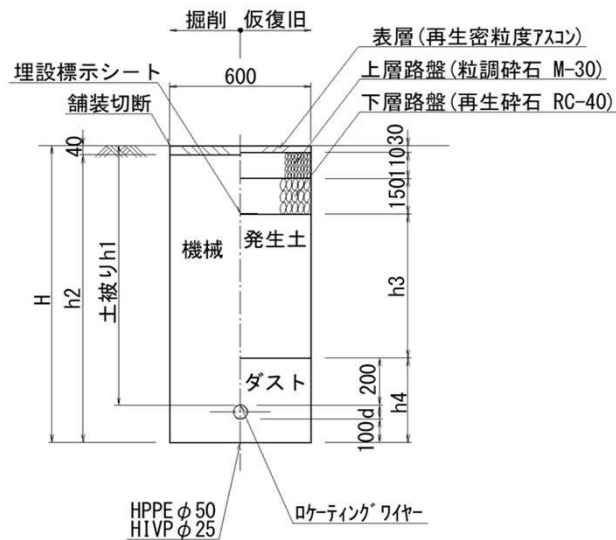
HPPE φ50

土工数量計算書

1.0式当り

略 図	工 種	細 別	1 m 当り・1 箇所当り		単位	数 量
			算 式	数 量		
HPPE φ50 土被り 1.11 m	<土工>					
土工延長 土工延長集計表より = 2.8 m	舗装切断工	As版カッター t=15cmまで	2 × 1.0	2.0	m	5.60
掘削深 = 1.11 + 0.06 + 0.10 - 0.04 = 1.230 m	As版取り壊し工	排出ガス対策型 直接掘削積込 BH0.28m3, t=10cm以下	0.600 × 1.0	0.600	m ²	1.68
埋戻深 ダスト = 0.20 + 0.06 + 0.10 = 0.360 m	As殻処理工		0.600 × 0.04	0.024	m ³	0.07
埋戻深 在来土 = 0.04 + 1.23 - 0.36 - 0.29 = 0.620 m	As殻処理工		0.07 × 2.35	0.165	t	0.17
	掘削工	土砂 BH0.28m3	H 0.600 × 1.230	0.738	m ³	2.07
	埋戻工	ダスト BH0.28m3 タンバ転圧	0.600 × 0.360 - 0.003 (配管控除)	0.213	m ³	0.60
	埋戻工	在来土 BH0.28m3 タンバ転圧	0.600 × 0.620	0.372	m ³	1.04
	在来土流用		在来土流用 1.16 × 0.9 = 1.04		m ³	1.16
	残土処理工		在来土流用 2.07 - 1.16 =	0.91	m ³	0.91
	As表層工(車道)	車道 人力 ハンドカイト 再生密粒度アスコン t=3cm、PK-3	0.600 × 1.0	0.600	m ²	1.68
	上層路盤工(車道)	人力 W=1.8m未満 タンバ転圧 粒度調整砕石M-30 t=11cm	0.600 × 1.0	0.600	m ²	1.68
	下層路盤工(車道)	人力 W=1.8m未満 タンバ転圧 再生砕石RC-40 t=15cm	0.600 × 1.0	0.600	m ²	1.68

排水工土工

市道(車道部)
φ50, φ25

2

埋戻控除 $0.06 \times \pi / 4 = 0.003$

土工 排-4

HPPE φ50

土工数量計算書

1.0式当り

略 図	工 種	細 別	1 m 当り・1 箇所当り		単位	数 量
			算 式	数 量		
<div>HPPE φ50 土被り 0.15 m</div> <div>土工延長 土工延長集計表より = 1.0 m</div> <div>掘削深 = 0.15 + 0.06 + 0.10 - 0.04 = 0.270 m</div> <div><p>排水工土工 市道(車道部) φ50, φ25</p></div> <div>2 埋戻控制 0.06 × π/4 = 0.003</div>	<土工>					
	舗装切断工	As版カッター t=15cmまで	2 × 1.0	2.0	m	2.00
	As版取り壊し工	排出ガス対策型 直接掘削積込 BH0.28m3, t=10cm以下	0.600 × 1.0	0.600	m2	0.60
	As殻処理工		0.600 × 0.04	0.024	m3	0.02
	As殻処理工		0.02 × 2.35	0.047	t	0.05
	掘削工	土砂 BH0.28m3	0.600 × 0.270	0.162	m3	0.16
	埋戻工	ダスト BH0.28m3 タンパ転圧	0.600 × - 0.003 (配管控除)	-0.003	m3	—
	埋戻工	在来土 BH0.28m3 タンパ転圧	0.600 ×		m3	—
	在来土流用		在来土流用 × 0.9 = —		m3	—
	残土処理工		在来土流用 0.16 - =	0.16	m3	0.16
	As表層工(車道)	車道 人力 ハンドカイト 再生密粒度アスコン t=3cm、PK-3	0.600 × 1.0	0.600	m2	0.60
	上層路盤工(車道)	人力 W=1.8m未満 タンパ転圧 粒度調整碎石M-30 t=11cm	0.600 × 1.0	0.600	m2	0.60
	下層路盤工(車道)	人力 W=1.8m未満 タンパ転圧 再生碎石RC-40 t=15cm	0.600 × 1.0	0.600	m2	0.60

本舗装復旧工

項 目			単位	計	設計数量
名 称	形状寸法	算 式			
<舗装取壊し、掘削>					
舗装切断工	As版カッター t=15cmまで	舗装復旧図より A路線 B路線 C路線 D路線 E路線 F路線 80.50 + 165.90 + 78.40 + 56.30 + 6.50 + 6.80	m		
		G路線 H路線 I路線 J路線 + 21.20 + 13.30 + 13.50 + 13.50	m	455.90	460
舗装版取り壊し工	排出ガス対策型 直接掘削積込 BH0.28m3, t=10cm以下	舗装復旧図より A路線 B路線 C路線 D路線 E路線 F路線 46.70 + 263.00 + 108.20 + 76.80 + 8.10 + 8.50	m ²		
		G路線 H路線 I路線 J路線 + 31.10 + 13.00 + 11.90 + 13.10	m ²	580.40	580
As殻運搬工	BH積込 DT4t運搬 Asガラ	仮舗装 212.14 × 0.03 + (580.40 - 212.14) × 0.04	m ³	21.095	21
処分費	Asガラ	21.095 × 2.35	t	49.57	50
床堀	排出ガス対策型 BH0.28m3 レキ質土	212.14 × 0.01	m ³	2.121	2
残土処理工	BH積込 DT4t運搬 土砂	2.121	m ³	2.121	2
処分費	土砂	2.121	m ³	2.121	2
<本舗装復旧>					
(市道) 表層工(車道)	車道 1.4m<b≤3.0m (タックコート) 再生密粒度アスコン t=4cm	580.40	m ²	580.40	580
不陸整正		580.40	m ²	580.40	580

HPPE φ75 切管調書

略 図	甲 切 管			乙 切 管												計	残	切断 (c)
┐— — — 1.250 3.11 0.44			1.250			3.11			0.44							4.800	0.200	3
┐— — — 3.270 1.00 0.51			3.27			1.00			0.51							4.780	0.220	3
┐— — — — — 2.410 0.99 0.85 0.24 0.36			2.41			0.99			0.85			0.24			0.36	4.850	0.150	5
┐— — — — — 3.100 1.50 0.25			3.10			1.50			0.25							4.850	0.150	3
┐— — — — — 1.820 1.00 0.84 0.51 0.74			1.82			1.00			0.84			0.51			0.74	4.910	0.090	5
┐— — — — — 2.530 0.92 0.81 0.35 0.25			2.53			0.92			0.81			0.35			0.25	4.860	0.140	5
┐— — — — — 2.970 1.51 0.44			2.97			1.51			0.44							4.920	0.080	3
┐— — — — — 4.160 0.74			4.160			0.74										4.900	0.100	2
┐— — — — — 2.280 2.02 0.50			2.28			2.02			0.50							4.800	0.200	3
┐— — — — — 2.590 0.50 0.61 0.60 0.58			2.59			0.50			0.61			0.60			0.58	4.880	0.120	5
┐— — — — — 1.550 1.50 0.48 1.30			1.55			1.50			0.48			1.30				4.830	0.170	4
┐— — — — — 3.500 1.00 0.30			3.50			1.00			0.30							4.800	0.200	3
┐— — — — — 3.000 1.50 0.33			3.00			1.50			0.33							4.830	0.170	3
┐— — — — — 3.000 1.50 0.22 0.21			3.00			1.50			0.22			0.21				4.930	0.070	4

<div> <div> <div></div> <div></div> </div> <div> <div></div> <div></div> </div> </div> <div> 4.0000.89 </div>			4.00			0.89										4.890	0.110	2
<div> <div> <div></div> <div></div> </div> <div> <div></div> <div></div> </div> </div> <div> 4.0000.90 </div>			4.00			0.90										4.900	0.100	2
<div> <div> <div></div> <div></div> </div> <div> <div></div> <div></div> </div> </div> <div> <div> <div></div> <div></div> </div> <div> <div></div> <div></div> </div> </div> <div> 1.5001.501.500.47 </div>			1.50			1.50			1.50			0.47				4.970	0.030	4
<div> <div> <div></div> <div></div> </div> <div> <div></div> <div></div> </div> </div> <div> <div> <div></div> <div></div> </div> <div> <div></div> <div></div> </div> </div> <div> <div> <div></div> <div></div> </div> <div> <div></div> <div></div> </div> </div> <div> 1.5001.501.030.410.35 </div>			1.50			1.50			1.03			0.41			0.35	4.790	0.210	5
合 計	<div> <div>直管(受口付) HPPE φ75</div> <div>L = 5,000</div> <div>16</div> <div>本</div> </div>															77.730	2.270	55
	<div> <div>直管(フレンセント*) HPPE φ75</div> <div>L = 5,000</div> <div>2</div> <div>本</div> </div>															9.760	0.240	9

HPPE φ50 切管調書

略 図	甲 切 管			乙 切 管												計	残	切断 (c)
<div> <div> <div></div> <div></div> </div> <div> <div></div> <div></div> </div> </div> <div> 0.3000.63 </div>			0.300			0.63										0.930	4.070	2
																	—	
合 計	<div> <div>直管 HPPE φ50</div> <div>L = 5,000</div> <div>1</div> <div>本</div> </div>															0.930	4.070	2

配水管 材料

名 称	形状・寸法	単位	管長	図面別数量										設計 計上 数量	管種口径別									
				配水管											延 長			EF継手(融着)						フランジ
				B路線	C路線	D路線	E路線	F路線	G路線	H路線	I路線	J路線	HPPE				箇所数	口数	箇所数	口数	箇所数	口数	口数	
				φ 75	φ 75	φ 75	φ 75	φ 75	φ 75	φ 75	φ 75	φ 75	75				φ 75	φ 75					φ 75	
EF形HPPE φ 75																							7.5k	
EF直管	φ 75×5,000	本	5.00	16	11	8					1		36	180.00					36					
EF直管	φ 50×5,000	本	5.00										—											
EF直管(切管用)	受け口付 φ 75×5,000	本	5.00										切管調書 16	77.73					16					
EF直管(切管用)	ブレーンエンド φ 75×5,000	本	5.00										切管調書 2	9.76					2					
EF直管(切管用)	受け口付 φ 50×5,000	本	5.00										切管調書 —											
EFソケット	φ 100	個	—										—											
EFソケット	φ 75	個	—	8	2	3	2	2	3	2	2	4	28					28						
EFソケット	φ 50	個	—										—											
EF両受ベント	φ 75×90°	個	0.44										—											
EF両受ベント	φ 75×45°	個	0.38	14						2	3	3	1	23	8.74				23					
EF両受ベント	φ 75×22 1/2°	個	0.28	5	1					2			2	10	2.80				10					
EF両受ベント	φ 75×11 1/4°	個	0.26		1								1	0.26				1						
EF片受ベント	φ 75×90°	個	0.54										—					—						
EF片受ベント	φ 75×45°	個	0.48	8		1				2			11	5.28					11					
EF片受ベント	φ 75×22 1/2°	個	0.38	2									2	0.76					2					
EF片受ベント	φ 75×11 1/4°	個	0.36		1								1	0.36					1					
EF両受ベント	φ 50×90°	個	0.32										—											
EF両受ベント	φ 50×45°	個	0.22										—					—						
EF両受ベント	φ 50×22 1/2°	個	0.18										—					—						

[illegible]

[illegible]

配水管 布設工

名 称	形状・寸法	単位	算 式	設計計上 数 量
< 布設工 >				
HPPE φ75				
ホ°ポリエチレン管据付工	融着接合 φ100	m	PE仕切弁 - S仕切弁 - 不断水T字管 =	
ホ°ポリエチレン管据付工	融着接合 φ75	m	318.05 - PE仕切弁 9.36 = 308.69	308.7
ホ°ポリエチレン管据付工	融着接合 φ50	m	PE仕切弁 - S仕切弁 - 不断水T字管 =	
ホ°ポリエチレン管継手工	融着接合（ソケット・両受部） φ100	箇所	=	
ホ°ポリエチレン管継手工	融着接合（ソケット・両受部） φ75	箇所	65 = 65	65
ホ°ポリエチレン管継手工	融着接合（ソケット・両受部） φ50	箇所	=	
ホ°ポリエチレン管継手工	融着接合（片受口部） φ75	口	68 = 68	68
ホ°ポリエチレン管継手工	融着接合（片受口部） φ50	口	=	
ホ°ポリエチレン管切断工	φ100	口	切管調書より =	
ホ°ポリエチレン管切断工	φ75	口	切管調書より 55 = 55	55
ホ°ポリエチレン管切断工	φ50	口	切管調書より =	
フランジ継手工	φ75 7.5k	口	12 = 12	12
メカニカル継手工	離脱防止付 φ75	口	6 = 6	6
メカニカル継手工	離脱防止付 φ50	口	=	
継手取外し工	メカニカル継手 φ75	口	=	
空気弁設置工	φ75	基	4 = 4	4

[illegible]

排水管 布設工

名 称	形状・寸法	単位	算 式	設計計上 数 量
<布設工>				
HPPE φ50				
ホ ^レ リチレン管据付工	融着接合 φ50	m	PE仕切弁 2.90 - 0.68 = 2.22	2.2
ホ ^レ リチレン管据付工	融着接合 φ100	m	PE仕切弁 S仕切弁 不断水T字管 - - - =	
ホ ^レ リチレン管据付工	融着接合 φ75	m	PE仕切弁 S仕切弁 不断水T字管 - - - =	
ホ ^レ リチレン管継手工	融着接合（ソケット・両受部） φ50	箇所	2 = 2	2
ホ ^レ リチレン管継手工	融着接合（ソケット・両受部） φ100	箇所	=	
ホ ^レ リチレン管継手工	融着接合（ソケット・両受部） φ75	箇所	=	
ホ ^レ リチレン管継手工	融着接合（片受口部） φ50	口	2 = 2	2
ホ ^レ リチレン管継手工	融着接合（片受口部） φ75	口	=	
ホ ^レ リチレン管切断工	φ150	口	切管調書より =	
ホ ^レ リチレン管切断工	φ100	口	切管調書より =	
ホ ^レ リチレン管切断工	φ50	口	切管調書より 2 = 2	2
フランジ継手工	φ100 7.5k	口	=	
フランジ継手工	φ75 7.5k	口	=	
GX継手工	異形管部 φ150	口	GX HPPE + =	
空気弁設置工	φ75	基	=	
仕切弁設置工	φ50	基	PE仕切弁 1 = 1	1

仕切弁室工数量集計書

 $(1/2)$ [illegible]

仕切弁室工数量集計書

(2/2)

[illegible]

[illegible]

土留工

[illegible]

仮設材賃料日数

名 称	形状寸法	単位	算 式								設計上 数 量
軽量鋼矢板	矢板長 L=2.00m	日	B路線 土工④-1 0.5	B路線 土工④-2 0.5	B・F路線 土工④-3 0.8	B路線 土工④-4 1.2	G路線 土工④-5 1.0	H路線 土工④-6 0.8	在場 日数計 = 4.9		
			搬入期間 5	設置・在場期間 4.9	搬出期間 4				賃料期間 = 13.9	14	
軽量鋼矢板	矢板長 L=2.50m	日	J路線 土工④-7 1.0	B・D路線 土工④-8 2.2	I路線 土工④-9 0.9	B路線 土工④-10 1.7	B路線 土工④-11 1.2		在場 日数計 = 7.0		
			搬入期間 5	設置・在場期間 7.0	搬出期間 4				賃料期間 = 16.0	16	
支保工 1段	腹起し 110mm×130mm×4000L 水圧式サポート 450～650程度	日	矢板長 L=2.0 4.9						在場 日数計 = 4.9		
			搬入期間 5	設置・在場期間 4.9	搬出期間 4				賃料期間 = 13.9	14	
支保工 2段	腹起し 110mm×130mm×4000L 水圧式サポート 450～650程度	日	矢板長 L=2.5 7.0						在場 日数計 = 7.0		
			搬入期間 5	設置・在場期間 7.0	搬出期間 4				賃料期間 = 16.0	16	

作業工程表(軽量鋼矢板建込工法)

矢板長 L= 2.00 (土工④-1 HPPE φ 75)			
1. 設計条件			
掘削延長:	0.00 m	機械掘削:	バックホウ (掘削・積込)
掘削深さ:	1.51 m		BH 山積 0.28m ³
掘削幅:	0.90 m		旋回角度: 180° (Cm35)
土質:	土砂		BH 運転時 T=5.1hr/日
管種・管径:	HPPE φ 75		TK 運転時 T=7.0hr/日
掘削土量:	0.00 m ³		
埋戻土:	0.00 m ³	不稼働係数:	1.8
土留延長:	0.00 m		
2. 施工に要する作業時間の算定			
1)掘削工	水道事業実務必携より バックホウ (掘削・積込)	=	59 m ³ /日
2)土留設置工			
	水道事業実務必携より 土留設置 矢板長: 2.00 m 特殊作業員		
	100m ÷ 2.0 (人/100m)	=	50.0 m/日
	支保設置 1 段 (水圧式パイプサポート) 特殊作業員		
	100m ÷ 0.6 (人/100m)	=	166.7 m/日
3)管布設工	水道事業実務必携より HPPE φ 75 配管工		
	10m ÷ 0.10 (人/10m)	=	100.0 m/日
	1箇所 ÷ 0.05 (人/1箇所)	=	20.0 箇所/日
4)埋戻工	水道事業実務必携より 普通作業員 タンパ×1台	=	36.0 m ³ /日
5)土留撤去工			
	水道事業実務必携より 土留撤去 矢板長: 2.00 m 特殊作業員		
	100m ÷ 0.9 (人/100m)	=	111.1 m/日
	支保撤去 1 段 (水圧式パイプサポート) 特殊作業員		
	100m ÷ 0.5 (人/100m)	=	200.0 m/日

3. 作業日数(1スパン・1箇所を施工するのに要する使用日数の算定)			
(1)掘削工	対象V= 0.00	0.00 ÷ 59 m ³ /日	= 0.00
		0.00 × 1.8	= 0 日
(2)土留工・支保工設置	0.00m / 0.00m	50.0 m/日 + 166.7 m/日	= 0.00
		0.00 × 1.8	= 0 日
(3)管布設工	0.00m / #####	100.0 m/日 + 20.0 箇所/日	= 0.50
		計 = 0.50	
		0.50 × 1.8	= 0.9 日
(4)埋戻工	対象V= 0.00	0.00 ÷ 36.0 m ³ /日	= 0.00
		0.00 × 1.8	= 0 日
(6)土留工・支保工撤去	0.00m / 0.00m	111.1 m/日 + 200.0 m/日	= 0.00
		0.00 × 1.8	= 0 日

項目	稼働日数	工程計画表	
掘削工	0.0 日	(0.0)	(0.0) 0.0
土留設置工	0.0 日	(0.0)	0.0
管布設工	0.90 日	(0.4)	(0.5) 0.5
埋戻工	0.0 日	(0.0)	(0.0) 0.5
	0.0 日	(0.0)	(0.0) 0.5
土留撤去工	0.0 日	(0.0)	(0.0) 0.5
損料日数		矢板・支保損料日数 0.5 日	
水替日数			

1スパン・1箇所当り土留使用日数 = 0.5日
賃料日数は、(打込期間×1/2)+(残場期間)+(引抜期間×1/2)+(5日+4日)とする。
よって、賃料日数 = 0.5 日 + 9 日 = 9.5 日 ≒ 10 日 とする。

作業工程表(軽量鋼矢板建込工法)

矢板長 L= 2.00 (土工④-2 HPPE φ 75)			
1. 設計条件			
掘削延長:	1.20 m	機械掘削:	バックホウ (掘削・積込)
掘削深さ:	1.54 m		BH 山積 0.28m ³
掘削幅:	0.90 m		旋回角度: 180° (Cm35)
土質:	土砂		BH 運転時 T=5.1hr/日
管種・管径:	HPPE φ 75		TK 運転時 T=7.0hr/日
掘削土量:	1.66 m ³		
埋戻土:	1.38 m ³	不稼働係数:	1.8
土留延長:	1.20 m		
2. 施工に要する作業時間の算定			
1)掘削工	水道事業実務必携より バックホウ (掘削・積込)	=	59 m ³ /日
2)土留設置工	水道事業実務必携より 土留設置 矢板長: 2.00 m 特殊作業員 100m ÷ 2.0 (人/100m)	=	50.0 m/日
	支保設置 1 段 (水圧式パイプサポート) 特殊作業員 100m ÷ 0.6 (人/100m)	=	166.7 m/日
3)管布設工	水道事業実務必携より HPPE φ 75 配管工 10m ÷ 0.10 (人/10m) 1箇所 ÷ 0.05 (人/1箇所)	=	100.0 m/日 20.0 箇所/日
4)埋戻工	水道事業実務必携より 普通作業員 タンパ×1台	=	36.0 m ³ /日
5)土留撤去工	水道事業実務必携より 土留撤去 矢板長: 2.00 m 特殊作業員 100m ÷ 0.9 (人/100m)	=	111.1 m/日
	支保撤去 1 段 (水圧式パイプサポート) 特殊作業員 100m ÷ 0.5 (人/100m)	=	200.0 m/日

3. 作業日数(1スパン・1箇所を施工するのに要する使用日数の算定)			
(1)掘削工	対象V= 1.66	÷ 59 m ³ /日	= 0.03
		0.03 × 1.8	= 0.1 日
(2)土留工・支保工設置	1.20m / + 1.20m /	50.0 m/日 166.7 m/日	= 0.03
		0.03 × 1.8	= 0.1 日
(3)管布設工	1.20m / 3 箇所 /	100.0 m/日 20.0 箇所/日	= 0.01 0.15
		計 = 0.16	
		0.16 × 1.8	= 0.3 日
(4)埋戻工	対象V= 1.38	÷ 36.0 m ³ /日	= 0.04
		0.04 × 1.8	= 0.1 日
(6)土留工・支保工撤去	1.20m / + 1.20m /	111.1 m/日 200.0 m/日	= 0.02
		0.02 × 1.8	= 0 日

項 目	稼働日数	工程計画表		
掘削工	0.1 日	(0.0)	(0.1)	0.1
土留設置工	0.1 日		(0.1)	0.2
管布設工	0.30 日	(0.1)	(0.2)	0.4
埋戻工	0.1 日	(0.1)	(0.1)	0.5
	0.0 日	(0.0)	(0.0)	0.5
土留撤去工	0.0 日	(0.0)	(0.0)	0.5
損料日数		矢板・支保損料日数 0.5 日		
水替日数				

1スパン・1箇所所当り土留使用日数 = 0.5日
賃料日数は、(打込期間×1/2)+(残場期間)+(引抜期間×1/2)+(5日+4日)とする。
よって、賃料日数 = 0.5 日 + 9 日 = 9.5 日 ≒ 10 日 とする。

作業工程表(軽量鋼矢板建込工法)

矢板長 L= 2.00 m(土工④-3 HPPE φ 75)			
1. 設計条件			
掘削延長:	0.90 m	機械掘削:	バックホウ (掘削・積込)
掘削深さ:	1.60 m		BH 山積 0.28m ³
掘削幅:	0.90 m		旋回角度: 180° (Cm35)
土質:	土砂		BH 運転時 T=5.1hr/日
管種・管径:	HPPE φ 75		TK 運転時 T=7.0hr/日
掘削土量:	1.30 m ³		
埋戻土:	1.09 m ³	不稼働係数:	1.8
土留延長:	0.90 m		
2. 施工に要する作業時間の算定			
1)掘削工	水道事業実務必携より バックホウ (掘削・積込)	=	59 m ³ /日
2)土留設置工			
	水道事業実務必携より 土留設置 矢板長: 2.00 m 特殊作業員		
	100m ÷ 2.0 (人/100m)	=	50.0 m/日
	支保設置 1 段 (水圧式パイプサポート) 特殊作業員		
	100m ÷ 0.6 (人/100m)	=	166.7 m/日
3)管布設工	水道事業実務必携より HPPE φ 75 配管工		
	10m ÷ 0.12 (人/10m)	=	83.3 m/日
	1箇所 ÷ 0.08 (人/1箇所)	=	12.5 箇所/日
4)埋戻工	水道事業実務必携より 普通作業員 タンパ×1台	=	36.0 m ³ /日
5)土留撤去工			
	水道事業実務必携より 土留撤去 矢板長: 2.00 m 特殊作業員		
	100m ÷ 0.9 (人/100m)	=	111.1 m/日
	支保撤去 1 段 (水圧式パイプサポート) 特殊作業員		
	100m ÷ 0.5 (人/100m)	=	200.0 m/日

3. 作業日数(1スパン・1箇所を施工するのに要する使用日数の算定)			
(1)掘削工	対象V= 1.30	1.30 ÷ 59 m ³ /日	= 0.02
		0.02 × 1.8	= 0.04 日
(2)土留工・支保工設置	0.90m / + 0.90m /	50.0 m/日 166.7 m/日	= 0.02
		0.02 × 1.8	= 0.04 日
(3)管布設工	0.90m / #####	83.3 m/日 12.5 箇所/日	= 0.01 = 0.80
		計 = 0.81	
		0.81 × 1.8	= 1.46 日
(4)埋戻工	対象V= 1.09	1.09 ÷ 36.0 m ³ /日	= 0.03
		0.03 × 1.8	= 0.05 日
(6)土留工・支保工撤去	0.90m / + 0.90m /	111.1 m/日 200.0 m/日	= 0.01
		0.01 × 1.8	= 0.02 日

項 目	稼働日数	工程計画表	
掘削工	0.04 日	(0.02)	(0.02) 0.04
土留設置工	0.04 日	(0.04)	0.06
管布設工	1.46 日	(0.73)	(0.73) 0.79
埋戻工	0.05 日	(0.02)	(0.03) 0.82
	0.00 日	(0.0)	(0.0) 0.82
土留撤去工	0.02 日	(0.01)	(0.01) 0.83
損料日数		矢板・支保損料日数 0.83 日	
水替日数			

1スパン・1箇所当り土留使用日数 = 0.8日
賃料日数は、(打込期間×1/2)+(残場期間)+(引抜期間×1/2)+(5日+4日)とする。
よって、賃料日数 = 0.8 日 + 9 日 = 9.8 日 ≒ 10 日 とする。

作業工程表(軽量鋼矢板建込工法)

矢板長 L= 2.00 m(土工④-4 HPPE φ 75)			
1. 設計条件			
掘削延長:	5.80 m	機械掘削:	バックホウ (掘削・積込)
掘削深さ:	1.64 m		BH 山積 0.28m ³
掘削幅:	0.90 m		旋回角度: 180° (Cm35)
土質:	土砂		BH 運転時 T=5.1hr/日
管種・管径:	HPPE φ 75		TK 運転時 T=7.0hr/日
掘削土量:	8.56 m ³		
埋戻土:	7.22 m ³	不稼働係数:	1.8
土留延長:	5.80 m		
2. 施工に要する作業時間の算定			
1)掘削工	水道事業実務必携より バックホウ (掘削・積込)	=	59 m ³ /日
2)土留設置工	水道事業実務必携より 土留設置 矢板長: 2.00 m 特殊作業員 100m ÷ 2.0 (人/100m)	=	50.0 m/日
	支保設置 1 段 (水圧式パイプサポート) 特殊作業員 100m ÷ 0.6 (人/100m)	=	166.7 m/日
3)管布設工	水道事業実務必携より HPPE φ 75 配管工 10m ÷ 0.12 (人/10m) 1箇所 ÷ 0.08 (人/1箇所)	=	83.3 m/日 12.5 箇所/日
4)埋戻工	水道事業実務必携より 普通作業員 タンパ×1台	=	36.0 m ³ /日
5)土留撤去工	水道事業実務必携より 土留撤去 矢板長: 2.00 m 特殊作業員 100m ÷ 0.9 (人/100m)	=	111.1 m/日
	支保撤去 1 段 (水圧式パイプサポート) 特殊作業員 100m ÷ 0.5 (人/100m)	=	200.0 m/日

3. 作業日数(1スパン・1箇所を施工するのに要する使用日数の算定)			
(1)掘削工	対象V= 8.56	÷	59 m ³ /日 = 0.15
(2)土留工・支保工設置	5.80m / + 5.80m /	50.0 m/日 166.7 m/日	= 0.15 0.15 × 1.8 = 0.27 日
(3)管布設工	5.80m / 7 箇所 /	83.3 m/日 12.5 箇所/日	= 0.07 0.63 計 = 0.63 0.63 × 1.8 = 1.13 日
(4)埋戻工	対象V= 7.22	÷	36.0 m ³ /日 = 0.20 0.20 × 1.8 = 0.36 日
(6)土留工・支保工撤去	5.80m / + 5.80m /	111.1 m/日 200.0 m/日	= 0.08 0.08 × 1.8 = 0.15 日

項目	稼働日数	工程計画表	
掘削工	0.26 日	(0.13)	(0.13) 0.26
土留設置工	0.27 日	(0.27)	0.40
管布設工	1.13 日	(0.56)	(0.57) 0.97
埋戻工	0.36 日	(0.18)	(0.18) 1.15
	0.00 日	(0.0)	(0.0) 1.15
土留撤去工	0.15 日	(0.07)	(0.08) 1.23
損料日数		矢板・支保損料日数 1.23 日	
水替日数			

1スパン・1箇所当り土留使用日数 = 1.2日
賃料日数は、(打込期間×1/2)+(残場期間)+(引抜期間×1/2)+(5日+4日)とする。
よって、賃料日数 = 1.2 日 + 9 日 = 10.2 日 ≒ 11 日 とする。

作業工程表(軽量鋼矢板建込工法)

矢板長 L= 2.00 m(土工④-5 HPPE φ 75)			
1. 設計条件			
掘削延長:	2.40 m	機械掘削:	バックホウ (掘削・積込)
掘削深さ:	1.73 m		BH 山積 0.28m ³
掘削幅:	0.90 m		旋回角度: 180° (Cm35)
土質:	土砂		BH 運転時 T=5.1hr/日
管種・管径:	HPPE φ 75		TK 運転時 T=7.0hr/日
掘削土量:	3.74 m ³		
埋戻土:	3.18 m ³	不稼働係数:	1.8
土留延長:	2.40 m		
2. 施工に要する作業時間の算定			
1)掘削工	水道事業実務必携より バックホウ (掘削・積込)	=	59 m ³ /日
2)土留設置工	水道事業実務必携より 土留設置 矢板長: 2.00 m 特殊作業員 100m ÷ 2.0 (人/100m)	=	50.0 m/日
	支保設置 1 段 (水圧式パイプサポート) 特殊作業員 100m ÷ 0.6 (人/100m)	=	166.7 m/日
3)管布設工	水道事業実務必携より HPPE φ 75 配管工 10m ÷ 0.12 (人/10m) 1箇所 ÷ 0.08 (人/1箇所)	=	83.3 m/日 12.5 箇所/日
4)埋戻工	水道事業実務必携より 普通作業員 タンパ×1台	=	36.0 m ³ /日
5)土留撤去工	水道事業実務必携より 土留撤去 矢板長: 2.00 m 特殊作業員 100m ÷ 0.9 (人/100m)	=	111.1 m/日
	支保撤去 1 段 (水圧式パイプサポート) 特殊作業員 100m ÷ 0.5 (人/100m)	=	200.0 m/日

3. 作業日数(1スパン・1箇所を施工するのに要する使用日数の算定)			
(1)掘削工	対象V= 3.74 ÷	59 m ³ /日	= 0.06
(2)土留工・支保工設置	2.40m / + 2.40m /	50.0 m/日 166.7 m/日	= 0.06
(3)管布設工	2.40m / #####	83.3 m/日 12.5 箇所/日	= 0.03 0.80
		計 = 0.83	
		0.83 × 1.8	= 1.49 日
(4)埋戻工	対象V= 3.18 ÷	36.0 m ³ /日	= 0.09
		0.09 × 1.8	= 0.16 日
(6)土留工・支保工撤去	2.40m / + 2.40m /	111.1 m/日 200.0 m/日	= 0.03
		0.03 × 1.8	= 0.06 日

項 目	稼働日数	工程計画表	
掘削工	0.11 日	(0.05)	(0.06) 0.11
土留設置工	0.11 日	(0.11)	0.17
管布設工	1.49 日	(0.74)	(0.75) 0.92
埋戻工	0.16 日	(0.08)	(0.08) 1.00
	0.00 日	(0.0)	(0.0) 1.00
土留撤去工	0.06 日	(0.03)	(0.03) 1.03
損料日数		矢板・支保損料日数 1.03 日	
水替日数			

1スパン・1箇所当り土留使用日数 = 1.0日
賃料日数は、(打込期間×1/2)+(残場期間)+(引抜期間×1/2)+(5日+4日)とする。
よって、賃料日数 = 1.0 日 + 9 日 = 10.0 日 ≒ 11 日 とする。

作業工程表(軽量鋼矢板建込工法)

矢板長 L= 2.00 m(土工④-6 HPPE φ 75)			
1. 設計条件			
掘削延長:	2.30 m	機械掘削:	バックホウ (掘削・積込)
掘削深さ:	1.76 m		BH 山積 0.28m ³
掘削幅:	0.90 m		旋回角度: 180° (Cm35)
土質:	土砂		BH 運転時 T=5.1hr/日
管種・管径:	HPPE φ 75		TK 運転時 T=7.0hr/日
掘削土量:	3.64 m ³		
埋戻土:	3.11 m ³	不稼働係数:	1.8
土留延長:	2.30 m		
2. 施工に要する作業時間の算定			
1)掘削工	水道事業実務必携より バックホウ (掘削・積込)	=	59 m ³ /日
2)土留設置工	水道事業実務必携より 土留設置 矢板長: 2.00 m 特殊作業員 100m ÷ 2.0 (人/100m)	=	50.0 m/日
	支保設置 1 段 (水圧式パイプサポート) 特殊作業員 100m ÷ 0.6 (人/100m)	=	166.7 m/日
3)管布設工	水道事業実務必携より HPPE φ 75 配管工 10m ÷ 0.12 (人/10m) 1箇所 ÷ 0.08 (人/1箇所)	=	83.3 m/日 12.5 箇所/日
4)埋戻工	水道事業実務必携より 普通作業員 タンパ×1台	=	36.0 m ³ /日
5)土留撤去工	水道事業実務必携より 土留撤去 矢板長: 2.00 m 特殊作業員 100m ÷ 0.9 (人/100m)	=	111.1 m/日
	支保撤去 1 段 (水圧式パイプサポート) 特殊作業員 100m ÷ 0.5 (人/100m)	=	200.0 m/日

3. 作業日数(1スパン・1箇所を施工するのに要する使用日数の算定)			
(1)掘削工	対象V= 3.64 ÷	59 m ³ /日	= 0.06
(2)土留工・支保工設置	2.30m / + 2.30m /	50.0 m/日 166.7 m/日	= 0.06
		0.06 × 1.8	= 0.11 日
(3)管布設工	2.30m / 7 箇所 /	83.3 m/日 12.5 箇所/日	= 0.03 0.56
		計 = 0.59	
		0.59 × 1.8	= 1.06 日
(4)埋戻工	対象V= 3.11 ÷	36.0 m ³ /日	= 0.09
		0.09 × 1.8	= 0.16 日
(6)土留工・支保工撤去	2.30m / + 2.30m /	111.1 m/日 200.0 m/日	= 0.03
		0.03 × 1.8	= 0.06 日

項 目	稼働日数	工程計画表	
掘削工	0.11 日	(0.05)	(0.06) 0.11
土留設置工	0.11 日	(0.11)	0.17
管布設工	1.06 日	(0.53)	(0.53) 0.70
埋戻工	0.16 日	(0.08)	(0.08) 0.78
	0.00 日	(0.0)	(0.0) 0.78
土留撤去工	0.06 日	(0.03)	(0.03) 0.81
損料日数		矢板・支保損料日数 0.81 日	
水替日数			

1スパン・1箇所当り土留使用日数 = 0.8日
賃料日数は、(打込期間×1/2)+(残場期間)+(引抜期間×1/2)+(5日+4日)とする。
よって、賃料日数 = 0.8 日 + 9 日 = 9.8 日 ≒ 10 日 とする。

作業工程表(軽量鋼矢板建込工法)

矢板長 L= 2.50 m(土工④-7 HPPE φ 75)			
1. 設計条件			
掘削延長:	3.20 m	機械掘削:	バックホウ (掘削・積込)
掘削深さ:	1.78 m		BH 山積 0.28m ³
掘削幅:	0.90 m		旋回角度: 180° (Cm35)
土質:	土砂		BH 運転時 T=5.1hr/日
管種・管径:	HPPE φ 75		TK 運転時 T=7.0hr/日
掘削土量:	5.13 m ³		
埋戻土:	4.38 m ³	不稼働係数:	1.8
土留延長:	3.20 m		
2. 施工に要する作業時間の算定			
1)掘削工	水道事業実務必携より バックホウ (掘削・積込)	=	59 m ³ /日
2)土留設置工	水道事業実務必携より 土留設置 矢板長: 2.50 m 特殊作業員 100m ÷ 2.4 (人/100m)	=	41.7 m/日
	支保設置 2 段 (水圧式パイプサポート) 特殊作業員 100m ÷ 1.2 (人/100m)	=	83.3 m/日
3)管布設工	水道事業実務必携より HPPE φ 75 配管工 10m ÷ 0.12 (人/10m) 1箇所 ÷ 0.08 (人/1箇所)	=	83.3 m/日 12.5 箇所/日
4)埋戻工	水道事業実務必携より 普通作業員 タンパ×1台	=	36.0 m ³ /日
5)土留撤去工	水道事業実務必携より 土留撤去 矢板長: 2.50 m 特殊作業員 100m ÷ 0.9 (人/100m)	=	111.1 m/日
	支保撤去 2 段 (水圧式パイプサポート) 特殊作業員 100m ÷ 0.8 (人/100m)	=	125.0 m/日

3. 作業日数(1スパン・1箇所を施工するのに要する使用日数の算定)			
(1)掘削工	対象V= 5.13	÷ 59 m ³ /日	= 0.09
(2)土留工・支保工設置	3.20m / + 3.20m /	41.7 m/日 83.3 m/日	= 0.12
		0.12 × 1.8	= 0.21 日
(3)管布設工	3.20m / 7 箇所 /	83.3 m/日 12.5 箇所/日	= 0.04 = 0.56
		計 = 0.60	
		0.60 × 1.8	= 1.08 日
(4)埋戻工	対象V= 4.38	÷ 36.0 m ³ /日	= 0.12
		0.12 × 1.8	= 0.22 日
(6)土留工・支保工撤去	3.20m / + 3.20m /	111.1 m/日 125.0 m/日	= 0.05
		0.05 × 1.8	= 0.1 日

項 目	稼働日数	工程計画表	
掘削工	0.16 日	(0.08)	(0.08) 0.16
土留設置工	0.21 日	(0.21)	0.29
管布設工	1.08 日	(0.54)	(0.54) 0.83
埋戻工	0.22 日	(0.11)	(0.11) 0.94
	0.00 日	(0.0)	(0.0) 0.94
土留撤去工	0.10 日	(0.05)	(0.05) 0.99
損料日数		矢板・支保損料日数 0.99 日	
水替日数			

1スパン・1箇所当り土留使用日数 = 1.0日
賃料日数は、(打込期間×1/2)+(残場期間)+(引抜期間×1/2)+(5日+4日)とする。
よって、賃料日数 = 1.0 日 + 9 日 = 10.0 日 ≒ 10 日 とする。

作業工程表(軽量鋼矢板建込工法)

矢板長 L= 2.50 m(土工④-8 HPPE φ 75)			
1. 設計条件			
掘削延長:	4.50 m	機械掘削:	バックホウ (掘削・積込)
掘削深さ:	1.80 m		BH 山積 0.28m ³
掘削幅:	0.90 m		旋回角度: 180° (Cm35)
土質:	土砂		BH 運転時 T=5.1hr/日
管種・管径:	HPPE φ 75		TK 運転時 T=7.0hr/日
掘削土量:	7.29 m ³		
埋戻土:	6.25 m ³	不稼働係数:	1.8
土留延長:	4.50 m		
2. 施工に要する作業時間の算定			
1)掘削工	水道事業実務必携より バックホウ (掘削・積込)	=	59 m ³ /日
2)土留設置工	水道事業実務必携より 土留設置 矢板長: 2.50 m 特殊作業員 100m ÷ 2.4 (人/100m)	=	41.7 m/日
	支保設置 2 段 (水圧式パイプサポート) 特殊作業員 100m ÷ 1.2 (人/100m)	=	83.3 m/日
3)管布設工	水道事業実務必携より HPPE φ 75 配管工 10m ÷ 0.12 (人/10m) 1箇所 ÷ 0.08 (人/1箇所)	=	83.3 m/日 12.5 箇所/日
4)埋戻工	水道事業実務必携より 普通作業員 タンパ×1台	=	36.0 m ³ /日
5)土留撤去工	水道事業実務必携より 土留撤去 矢板長: 2.50 m 特殊作業員 100m ÷ 0.9 (人/100m)	=	111.1 m/日
	支保撤去 2 段 (水圧式パイプサポート) 特殊作業員 100m ÷ 0.8 (人/100m)	=	125.0 m/日

3. 作業日数(1スパン・1箇所を施工するのに要する使用日数の算定)			
(1)掘削工	対象V= 7.29 ÷	59 m ³ /日	= 0.12
(2)土留工・支保工設置	4.50m / + 4.50m /	41.7 m/日 83.3 m/日	= 0.16
(3)管布設工	4.50m / #####	83.3 m/日 12.5 箇所/日	= 0.05 1.68
		計 = 1.73	
(4)埋戻工	対象V= 6.25 ÷	36.0 m ³ /日	= 0.17
(6)土留工・支保工撤去	4.50m / + 4.50m /	111.1 m/日 125.0 m/日	= 0.08

項 目	稼働日数	工程計画表	
掘削工	0.22 日	(0.11)	(0.11) 0.22
土留設置工	0.29 日	(0.29)	0.40
管布設工	3.12 日	(1.56)	(1.56) 1.96
埋戻工	0.31 日	(0.15)	(0.16) 2.12
	0.00 日	(0.0)	(0.0) 2.12
土留撤去工	0.14 日	(0.07)	(0.07) 2.19
損料日数		矢板・支保損料日数 2.19 日	
水替日数			

1スパン・1箇所当り土留使用日数 = 2.2日
賃料日数は、(打込期間×1/2)+(残場期間)+(引抜期間×1/2)+(5日+4日)とする。
よって、賃料日数 = 2.2 日 + 9 日 = 11.2 日 ≒ 12 日 とする。

作業工程表(軽量鋼矢板建込工法)

矢板長 L= 2.50 m(土工④-9 HPPE φ 75)			
1. 設計条件			
掘削延長:	2.50 m	機械掘削:	バックホウ (掘削・積込)
掘削深さ:	1.87 m		BH 山積 0.28m ³
掘削幅:	0.90 m		旋回角度: 180° (Cm35)
土質:	土砂		BH 運転時 T=5.1hr/日
管種・管径:	HPPE φ 75		TK 運転時 T=7.0hr/日
掘削土量:	4.21 m ³		
埋戻土:	3.63 m ³	不稼働係数:	1.8
土留延長:	2.50 m		
2. 施工に要する作業時間の算定			
1)掘削工	水道事業実務必携より バックホウ (掘削・積込)	=	59 m ³ /日
2)土留設置工	水道事業実務必携より 土留設置 矢板長: 2.50 m 特殊作業員 100m ÷ 2.4 (人/100m)	=	41.7 m/日
	支保設置 2 段 (水圧式パイプサポート) 特殊作業員 100m ÷ 1.2 (人/100m)	=	83.3 m/日
3)管布設工	水道事業実務必携より HPPE φ 75 配管工 10m ÷ 0.12 (人/10m) 1箇所 ÷ 0.08 (人/1箇所)	= =	83.3 m/日 12.5 箇所/日
4)埋戻工	水道事業実務必携より 普通作業員 タンパ×1台	=	36.0 m ³ /日
5)土留撤去工	水道事業実務必携より 土留撤去 矢板長: 2.50 m 特殊作業員 100m ÷ 0.9 (人/100m)	=	111.1 m/日
	支保撤去 2 段 (水圧式パイプサポート) 特殊作業員 100m ÷ 0.8 (人/100m)	=	125.0 m/日

3. 作業日数(1スパン・1箇所を施工するのに要する使用日数の算定)			
(1)掘削工	対象V= 4.21 ÷	59 m ³ /日	= 0.07
(2)土留工・支保工設置	2.50m / + 2.50m /	41.7 m/日 83.3 m/日	= 0.09
		0.09 × 1.8	= 0.16 日
(3)管布設工	2.50m / 7 箇所 /	83.3 m/日 12.5 箇所/日	= 0.03 = 0.56
		計 = 0.59	
		0.59 × 1.8	= 1.06 日
(4)埋戻工	対象V= 3.63 ÷	36.0 m ³ /日	= 0.10
		0.10 × 1.8	= 0.18 日
(6)土留工・支保工撤去	2.50m / + 2.50m /	111.1 m/日 125.0 m/日	= 0.04
		0.04 × 1.8	= 0.08 日

項 目	稼働日数	工程計画表	
掘削工	0.13 日	(0.06)	(0.07) 0.13
土留設置工	0.16 日	(0.16)	0.23
管布設工	1.06 日	(0.53)	(0.53) 0.76
埋戻工	0.18 日	(0.09)	(0.09) 0.85
	0.00 日	(0.0)	(0.0) 0.85
土留撤去工	0.08 日	(0.04)	(0.04) 0.89
損料日数		矢板・支保損料日数 0.89 日	
水替日数			

1スパン・1箇所当り土留使用日数 = 0.9日
賃料日数は、(打込期間×1/2)+(残場期間)+(引抜期間×1/2)+(5日+4日)とする。
よって、賃料日数 = 0.9 日 + 9 日 = 9.9 日 ≒ 10 日 とする。

作業工程表(軽量鋼矢板建込工法)

矢板長 L= 2.50 m(土工④-10 HPPE φ 75)			
1. 設計条件			
掘削延長:	6.30 m	機械掘削:	バックホウ (掘削・積込)
掘削深さ:	2.11 m		BH 山積 0.28m ³
掘削幅:	0.90 m		旋回角度: 180° (Cm35)
土質:	土砂		BH 運転時 T=5.1hr/日
管種・管径:	HPPE φ 75		TK 運転時 T=7.0hr/日
掘削土量:	11.96 m ³		
埋戻土:	10.50 m ³	不稼働係数:	1.8
土留延長:	6.30 m		
2. 施工に要する作業時間の算定			
1)掘削工	水道事業実務必携より バックホウ (掘削・積込)	=	59 m ³ /日
2)土留設置工	水道事業実務必携より 土留設置 矢板長: 2.50 m 特殊作業員 100m ÷ 2.4 (人/100m)	=	41.7 m/日
	支保設置 2 段 (水圧式パイプサポート) 特殊作業員 100m ÷ 1.2 (人/100m)	=	83.3 m/日
3)管布設工	水道事業実務必携より HPPE φ 75 配管工 10m ÷ 0.12 (人/10m) 1箇所 ÷ 0.08 (人/1箇所)	=	83.3 m/日 12.5 箇所/日
4)埋戻工	水道事業実務必携より 普通作業員 タンパ×1台	=	36.0 m ³ /日
5)土留撤去工	水道事業実務必携より 土留撤去 矢板長: 2.50 m 特殊作業員 100m ÷ 0.9 (人/100m)	=	111.1 m/日
	支保撤去 2 段 (水圧式パイプサポート) 特殊作業員 100m ÷ 0.8 (人/100m)	=	125.0 m/日

3. 作業日数(1スパン・1箇所を施工するのに要する使用日数の算定)			
(1)掘削工	対象V= 11.96 ÷	59 m ³ /日	= 0.20
(2)土留工・支保工設置	6.30m / + 6.30m /	41.7 m/日 83.3 m/日	= 0.23
		0.23 × 1.8	= 0.41 日
(3)管布設工	6.30m / 9 箇所 /	83.3 m/日 12.5 箇所/日	= 0.08 = 0.72
		計 = 0.80	
		0.80 × 1.8	= 1.43 日
(4)埋戻工	対象V= 10.50 ÷	36.0 m ³ /日	= 0.29
		0.29 × 1.8	= 0.53 日
(6)土留工・支保工撤去	6.30m / + 6.30m /	111.1 m/日 125.0 m/日	= 0.11
		0.11 × 1.8	= 0.19 日

項 目	稼働日数	工程計画表	
掘削工	0.36 日	(0.18)	(0.18) 0.36
土留設置工	0.41 日	(0.41)	0.59
管布設工	1.43 日	(0.71)	(0.72) 1.31
埋戻工	0.53 日	(0.26)	(0.27) 1.58
	0.00 日	(0.0)	(0.0) 1.58
土留撤去工	0.19 日	(0.09)	(0.10) 1.68
損料日数		矢板・支保損料日数 1.68 日	
水替日数			

1スパン・1箇所所当り土留使用日数 = 1.7日
賃料日数は、(打込期間×1/2)+(残場期間)+(引抜期間×1/2)+(5日+4日)とする。
よって、賃料日数 = 1.7 日 + 9 日 = 10.7 日 ≒ 11 日 とする。

作業工程表(軽量鋼矢板建込工法)

矢板長 L= 2.50 m(土工④-11 HPPE φ 75)			
1. 設計条件			
掘削延長:	4.70 m	機械掘削:	バックホウ (掘削・積込)
掘削深さ:	2.12 m		BH 山積 0.28m ³
掘削幅:	0.90 m		旋回角度: 180° (Cm35)
土質:	土砂		BH 運転時 T=5.1hr/日
管種・管径:	HPPE φ 75		TK 運転時 T=7.0hr/日
掘削土量:	8.97 m ³		
埋戻土:	7.88 m ³	不稼働係数:	1.8
土留延長:	4.70 m		
2. 施工に要する作業時間の算定			
1)掘削工	水道事業実務必携より バックホウ (掘削・積込)	=	59 m ³ /日
2)土留設置工	水道事業実務必携より 土留設置 矢板長: 2.50 m 特殊作業員 100m ÷ 2.4 (人/100m)	=	41.7 m/日
	支保設置 2 段 (水圧式パイプサポート) 特殊作業員 100m ÷ 1.2 (人/100m)	=	83.3 m/日
3)管布設工	水道事業実務必携より HPPE φ 75 配管工 10m ÷ 0.12 (人/10m) 1箇所 ÷ 0.08 (人/1箇所)	=	83.3 m/日 12.5 箇所/日
4)埋戻工	水道事業実務必携より 普通作業員 タンパ×1台	=	36.0 m ³ /日
5)土留撤去工	水道事業実務必携より 土留撤去 矢板長: 2.50 m 特殊作業員 100m ÷ 0.9 (人/100m)	=	111.1 m/日
	支保撤去 2 段 (水圧式パイプサポート) 特殊作業員 100m ÷ 0.8 (人/100m)	=	125.0 m/日

3. 作業日数(1スパン・1箇所を施工するのに要する使用日数の算定)			
(1)掘削工	対象V= 8.97 ÷	59 m ³ /日	= 0.15
		0.15 × 1.8	= 0.27 日
(2)土留工・支保工設置	4.70m / + 4.70m /	41.7 m/日 83.3 m/日	= 0.17
		0.17 × 1.8	= 0.30 日
(3)管布設工	4.70m / 6 箇所 /	83.3 m/日 12.5 箇所/日	= 0.06 = 0.48
		計 = 0.54	
		0.54 × 1.8	= 0.97 日
(4)埋戻工	対象V= 7.88 ÷	36.0 m ³ /日	= 0.22
		0.22 × 1.8	= 0.39 日
(6)土留工・支保工撤去	4.70m / + 4.70m /	111.1 m/日 125.0 m/日	= 0.08
		0.08 × 1.8	= 0.14 日

項 目	稼働日数	工程計画表	
掘削工	0.27 日	(0.13)	(0.14) 0.27
土留設置工	0.30 日	(0.30)	0.44
管布設工	0.97 日	(0.48)	(0.49) 0.93
埋戻工	0.39 日	(0.19)	(0.20) 1.13
	0.00 日	(0.0)	(0.0) 1.13
土留撤去工	0.14 日	(0.07)	(0.07) 1.20
損料日数		矢板・支保損料日数 1.20 日	
水替日数			

1スパン・1箇所当り土留使用日数 = 1.2日
賃料日数は、(打込期間×1/2)+(残場期間)+(引抜期間×1/2)+(5日+4日)とする。
よって、賃料日数 = 1.2 日 + 9 日 = 10.2 日 ≒ 11 日 とする。

矢板等 仮設材運搬重量

1.0 式 当り

種 別	形状寸法	単位	算 式	数 量
軽量鋼矢板	I 型 t=4mm		矢板長 = 2.00 m (2面) 延長 = 24.30 m 土留工算定表より $\frac{24.30 \text{ m}}{2.00 \text{ m}} \div 0.250 \times 2 \text{ 面} = 195 \text{ 枚}$ $2.00 \text{ m} \times 195 \text{ 枚} \times 0.0104 \text{ t/m} = 4.056 \text{ t}$ 矢板長 = 2.50 m (2面) 延長 = 6.30 m 土留工算定表より $\frac{6.30 \text{ m}}{2.50 \text{ m}} \div 0.250 \times 2 \text{ 面} = 51 \text{ 枚}$ $2.50 \text{ m} \times 51 \text{ 枚} \times 0.0104 \text{ t/m} = 1.326 \text{ t}$	
軽量金属支保	設置段数 = 1 段 切梁長 = 平均0.61 mを想定		土留工算定表より(管路部) 腹起し材 $\frac{24.30 \text{ m}}{4.00 \text{ m}} = 7 \text{ 本}$ $7 \text{ 本} \times 2 \text{ 面} \times 1 \text{ 段} = 14 \text{ 本}$ 切梁材 $7 \text{ 本} \times 2 \times 1 \text{ 段} = 14 \text{ 本}$	
軽量金属支保	設置段数 = 2 段 切梁長 = 平均0.61 mを想定		土留工算定表より 腹起し材 $\frac{6.30 \text{ m}}{4.00 \text{ m}} = 2 \text{ 本}$ $2 \text{ 本} \times 2 \text{ 面} \times 2 \text{ 段} = 8 \text{ 本}$ 切梁材 $2 \text{ 本} \times 2 \times 2 \text{ 段} = 8 \text{ 本}$	
腹起し材	管埋設工事用(アルミ製) 110mm×130mm×4000L		$(14 + 0 + 8) \times 0.0386 \text{ t/本(カタログ)} = 0.849 \text{ t}$	
切梁材	水圧式サポート(アルミ製) 調整長 450～650程度		$(14 + 8) \times 0.0085 \text{ t/本(カタログ)} = 0.187 \text{ t}$	
運搬重量 計		t	仮設材重量 総計 6.418 t	6.4

消火栓 材料

[illegible]

消火栓 設置工

名 称	形状・寸法	単位	算 式	設計計上 数 量
<設置工>				
消火栓				
フランジ継手工	φ 75 7.5k	口	消火栓 (6 - 2) = 4	4
消火栓設置工	φ 75 地下式単口	基	2 = 2	2
<消火栓室>	H=640			
消火栓筐設置工	円形3号 円形 500mm×H100	箇所	2 = 2	2
消火栓筐設置工	樹脂製 上部壁 φ 500×H200	箇所	2 = 2	2
消火栓筐設置工	樹脂製 中部壁 φ 500×H100	箇所	2 = 2	2
消火栓筐設置工	樹脂製 下部壁 φ 500×H200	箇所	2 = 2	2
消火栓筐設置工	樹脂製 底板 φ 500×H40	箇所	2 = 2	2

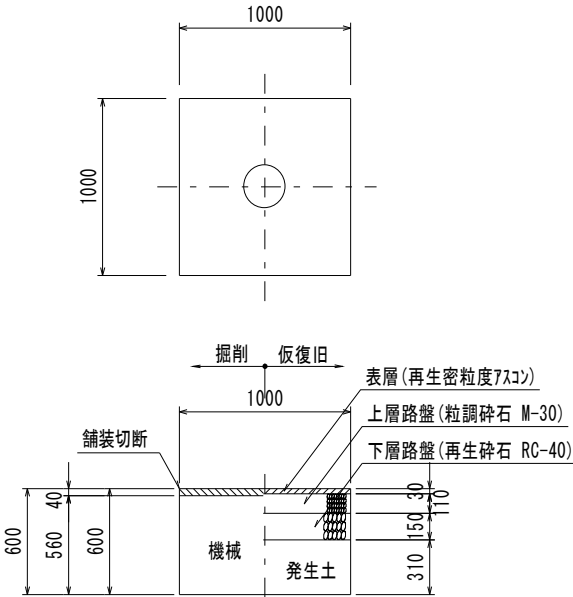
弁室撤去工集計表

[illegible]

既設弁室撤去土工

数 量 計 算 書

14 箇所

略 図	工 種	細 別	1 箇所当り		単位	数 量
			算 式	数 量		
	<土工>					
	舗装切断工	As版カッター t=15cmまで	1.0 × 4	= 4.0	m	56.00
	As版取り壊し工	排出ガス対策型 直接掘削積込 BH0.28m3, t=10cm以下	1.00 × 1.00	1.000	m2	14.00
	As殻処理工		1.000 × 0.04	0.040	m3	0.56
	As殻処理工		0.04 × 2.35	0.094	t	1.32
	掘削工	土砂 BH0.28m3	1.00 × 1.00 × H	0.560	m3	7.84
	埋戻工	在来土 BH0.28m3 タンパ転圧	1.00 × 1.00 × H	0.310	m3	4.34
	在来土流用		在来土流用 4.82 × 0.9 = 4.34	4.82	m3	4.82
	残土処理工		在来土流用 7.84 - 4.82 =	3.02	m3	3.02
	<舗装仮復旧工>					
	As表層工(車道)	車道 人力 ハンドがけ 再生密粒度アスコン t=3cm、PK-3	1.00 × 1.00	1.000	m2	14.00
	上層路盤工(車道)	人力 W=1.8m未満 タンパ転圧 粒度調整碎石M-30 t=11cm	1.00 × 1.00	1.000	m2	14.00
	下層路盤工(車道)	人力 W=1.8m未満 タンパ転圧 再生碎石RC-40 t=15cm	1.00 × 1.00	1.000	m2	14.00

通水試験工

[illegible]

試掘工 (B路線:2,C・D・G・H・I・J路線:各1)

数 量 計 算 書

8 箇所

略 図	工 種	細 別	1 箇所当り		単位	数 量
			算 式	数 量		
	<土工>					
	舗装切断工	As版カッター t=15cmまで	1.0 × 4	= 4.0	m	32.00
	As版取り壊し工	排出ガス対策型 直接掘削積込 BH0.28m3, t=10cm以下	1.00 × 1.00	1.000	m2	8.00
	As殻処理工		1.000 × 0.04	0.040	m3	0.32
	As殻処理工		0.04 × 2.35	0.094	t	0.75
	掘削工	土砂 BH0.28m3	1.00 × 1.00 × H	0.960	m3	7.68
	発生土運搬工	DT 4t積 BH0.28m3積込 土砂(現場～仮置場)			m3	7.68
	積込工	排出ガス対策型 BH0.80m3, 土砂(仮置場)ルーズ			m3	7.68
	埋戻工	在来土 BH0.28m3 タンパ転圧	1.00 × 1.00 × H	0.710	m3	5.68
	流用土運搬工	DT 4t積 BH0.80m3積込 土砂(仮置場～現場)	在来土流用 6.31 × 0.9 = 5.68	6.31	m3	6.31
	残土運搬工	DT 10t積 BH0.80m3積込 土砂(仮置場～処分地)	在来土流用 7.68 - 6.31 =	1.37	m3	1.37
	処分費	レキ質土			m3	1.37
	<舗装仮復旧工>					
	As表層工(車道)	車道 人力 ハンドがけ 再生密粒度アスコン t=3cm、PK-3	1.00 × 1.00	1.000	m2	8.00
	上層路盤工(車道)	人力 W=1.8m未満 タンパ転圧 粒度調整碎石M-30 t=11cm	1.00 × 1.00	1.000	m2	8.00
	下層路盤工(車道)	人力 W=1.8m未満 タンパ転圧 再生碎石RC-40 t=15cm	1.00 × 1.00	1.000	m2	8.00

作業日数算定表(交通誘導員)

工 種	種別	単位	作業量	日当り 作業量	作業日数（日）			備 考
					実働日数	不稼働率	工期	
1工区								
<土工>								
舗装切断工	As版カッター t=15cmまで	m	690	230	3.00	1.7	5.10	
舗装版取り壊し工	排出ガス対策型 直接掘削積込 BH0.28m3, t=10cm以下	m2	210	194	1.08	1.7	1.84	
床掘工	土砂 BH0.28m3	m3	270	85	3.18	1.7	5.41	
ダスト埋戻工	ダスト BH0.28m3 タンバ転圧	m3	72	36	2.00	1.7	3.40	
発生土埋戻工	在来土 BH0.28m3 タンバ転圧	m3	147	36	4.08	1.7	6.94	
<仮復旧>								
下層路盤工(市道)	人力、W=1.8m未満、タンバ転圧 RC-40、t=15cm 車道	m2	212	222	0.95	1.7	1.62	
上層路盤工(市道)	人力、W=1.8m未満、タンバ転圧 M-30、t=11cm 車道	m2	212	222	0.95	1.7	1.62	
表層工(市道)	人力、W=1.4m未満、ハット'カ'ット 再生密粒度アスコン、t=3cm 車道 PK-3	m2	212	250	0.85	1.7	1.45	
<本舗装復旧>								
舗装切断工	As版カッター t=15cmまで	m	460	230	2.00	1.7	3.40	
舗装版取り壊し工	排出ガス対策型 直接掘削積込 BH0.28m3, t=10cm以下	m2	580	194	2.99	1.7	5.08	
床堀	レキ質土 レキ質土	m3	2	85	0.02	1.7	0.03	
表層工(車道)	車道 1.4m<b≤3.0m (タックコート) 再生密粒度アスコン t=4cm	m2	580	250	2.32	1.7	3.94	
区画線工	ペイント式 W=15cm 実線	m		1000		1.7		
不陸整正		m2	580	1500	0.39	1.7	0.66	

工 種	種別	単位	作業量	日当り 作業量	作業日数（日）			備 考
					実働日数	不稼働率	工期	
<管布設工>								
(配水管)								
HPPE φ75								
ポリエチレン管据付工	融着接合 φ75	m	308.7	100.0	3.09	1.7	5.25	
ポリエチレン管据付工	融着接合 φ50	m		100.0		1.7		
ポリエチレン管継手工	融着接合(ソケット・両受部) φ100	箇所		14.3		1.7		
ポリエチレン管継手工	融着接合(ソケット・両受部) φ75	箇所	65.0	20.0	3.25	1.7	5.53	
ポリエチレン管継手工	融着接合(ソケット・両受部) φ50	箇所		25.0		1.7		
ポリエチレン管継手工	融着接合(片受口部) φ75	口	68.0	28.6	2.38	1.7	4.05	
ポリエチレン管継手工	融着接合(片受口部) φ50	口		35.7		1.7		
ポリエチレン管切断工	φ100	口		50.0		1.7		
ポリエチレン管切断工	φ75	口	55.0	100.0	0.55	1.7	0.94	
ポリエチレン管切断工	φ50	口		100.0		1.7		
フランジ継手工	φ75 7.5k	口	12.0	16.7	0.72	1.7	1.22	
メカニカル継手工	離脱防止付 φ75	口	6.0	20.0	0.3	1.7	0.51	
メカニカル継手工	離脱防止付 φ50	口		20.0		1.7		
継手取外し工	メカニカル継手 φ75	口		32.0		1.7		
空気弁設置工	φ75	基	4.0	20.0	0.2	1.7	0.34	
仕切弁設置工	φ100	基		17.5		1.7		
仕切弁設置工	φ75	基	12.0	17.5	0.69	1.7	1.17	

工 種	種別	単位	作業量	日当り 作業量	作業日数（日）			備 考
					実働日数	不稼働率	工期	
不断水連絡工	鋳鉄管用 φ100×φ100	箇所		3.6		1.7		
不断水連絡工	鋳鉄管用 φ75×φ75	箇所		3.6		1.7		
管路断水器設置工	φ100 DIP用	箇所		3.6		1.7		不断水連絡工と同等とする。
管明テープ工	HPPE φ100	m		833.3		1.7		
管明テープ工	HPPE φ75	m	318.1	909.1	0.35	1.7	0.6	
管明テープ工	HPPE φ50	m		1111.1		1.7		
埋設表示シート取付工	W=15cm, ダブル, 50m/巻	m	318.1	250.0	1.27	1.7	2.16	
ロケーティングワイヤー取付工		m	318.1	1000.0	0.32	1.7	0.54	
(排水管)								
HPPE φ50								
ポリエチレン管据付工	融着接合 φ50	m	2.2	100.0	0.02	1.7	0.03	
ポリエチレン管据付工	融着接合 φ100	m		83.3		1.7		
ポリエチレン管据付工	融着接合 φ75	m		100.0		1.7		
ポリエチレン管継手工	融着接合(ソケット・両受部) φ50	箇所	2.0	25.0	0.08	1.7	0.14	
ポリエチレン管継手工	融着接合(ソケット・両受部) φ100	箇所		14.3		1.7		
ポリエチレン管継手工	融着接合(ソケット・両受部) φ75	箇所		20.0		1.7		
ポリエチレン管継手工	融着接合(片受口部) φ50	口	2.0	35.7	0.06	1.7	0.1	
ポリエチレン管継手工	融着接合(片受口部) φ75	口		28.6		1.7		
ポリエチレン管切断工	φ150	口		25.0		1.7		
ポリエチレン管切断工	φ100	口		50.0		1.7		

工 種	種別	単位	作業量	日当り 作業量	作業日数（日）			備 考
					実働日数	不稼働率	工期	
ポリエチレン管切断工	φ 50	口	2.0	100.0	0.02	1.7	0.03	
フランジ継手工	φ 100 7.5k	口		16.7		1.7		
フランジ継手工	φ 75 7.5k	口		16.7		1.7		
GX継手工	異形管部 φ 150	口		18.0		1.7		
空気弁設置工	φ 75	基		20.0		1.7		
仕切弁設置工	φ 50	基	1.0	17.5	0.06	1.7	0.1	
仕切弁設置工	φ 100	基		17.5		1.7		
不断水連絡工	铸铁管用 φ 100× φ 100	箇所		3.6		1.7		
不断水連絡工	铸铁管用 φ 75× φ 75	箇所		3.6		1.7		
管路断水器設置工	φ 100 DIP用	箇所		3.6		1.7		
管路断水器設置工	φ 75 DIP用	箇所		3.6		1.7		
管明テープ工	HPPE φ 50	m	2.9	833.3		1.7		
管明テープ工	HPPE φ 100	m		909.1		1.7		
管明テープ工	HPPE φ 50	m		1111.1		1.7		
埋設表示シート取付工	W=15cm, ダブル, 50m/巻	m	2.9	250.0	0.01	1.7	0.02	
ローケインクワイヤー取付工		m	2.9	1000.0		1.7		
<土留工>								
軽量鋼矢板建込工	両側分 機械力・矢板長2.0m	m	41.2	12.3	3.35	1.7	5.7	
軽量鋼矢板引抜工	両側分 機械力・矢板長2.0m	m	41.2	16.8	2.45	1.7	4.17	

工 種	種別	単位	作業量	日当り 作業量	作業日数（日）			備 考
					実働日数	不稼働率	工期	
軽量鋼矢板建込工	両側分 機械力・矢板長2.5m	m	21.2	9.8	2.16	1.7	3.67	
軽量鋼矢板引抜工	両側分 機械力・矢板長2.5m	m	21.2	13.4	1.58	1.7	2.69	
< 弁室設置工 >								
< 仕切弁室設置工 >								
仕切弁篋設置工	円形1号 円形 250mm×H150	箇所	13.0	16.7	0.78	1.7	1.33	
仕切弁篋設置工	レゾコン製 上部壁 φ250×H150	箇所	13.0	100.0	0.13	1.7	0.22	
仕切弁篋設置工	レゾコン製 中部壁 φ250×H200	箇所	26.0	100.0	0.26	1.7	0.44	
仕切弁篋設置工	レゾコン製 中部壁 φ250×H300	箇所		100.0		1.7		
仕切弁篋設置工	レゾコン製 下部壁 φ250/ φ350×H300	箇所	13.0	100.0	0.13	1.7	0.22	
仕切弁篋設置工	レゾコン製 底板 φ350×H70	箇所	13.0	100.0	0.13	1.7	0.22	
< 空気弁室設置工 >								
空気弁篋設置工	円形3号 円形 500mm×H100	箇所	4.0	10.0	0.4	1.7	0.68	
空気弁篋設置工	レゾコン製 上部壁 φ500×H200	箇所	4.0	33.3	0.12	1.7	0.2	
空気弁篋設置工	レゾコン製 中部壁 φ500×H100	箇所	4.0	50.0	0.08	1.7	0.14	
空気弁篋設置工	レゾコン製 下部壁 φ500×H200	箇所	4.0	50.0	0.08	1.7	0.14	
空気弁篋設置工	レゾコン製 底板 φ500×H40	箇所	4.0	50.0	0.08	1.7	0.14	
< 既設弁室撤去工 >								

工 種	種別	単位	作業量	日当り 作業量	作業日数（日）			備 考
					実働日数	不稼働率	工期	
既設仕切弁室鉄蓋撤去	1号 φ250	箇所	11.0	26.7	0.41	1.7	0.7	
既設空気弁・消火栓室鉄蓋撤去	3号 φ500	箇所	3.0	16.0	0.19	1.7	0.32	
<通水試験工>								
通水試験工	給水車なし φ75～φ50	m	305.1	750	0.41	1.7	0.7	
合 計					50		85	
交通誘導員数	現場当たり		3人	×	50日	=	150人	交代要員を含む実働日数とし、 1日当り3人/組を計上する。
消火栓								
<管布設工>								
フランジ継手工	φ75 7.5k	口	4	16.7	0.24	1.7	0.41	
消火栓設置工	φ75 地下式単口	基	2	12.5	0.16	1.7	0.27	
<消火栓室>	H=640							
消火栓筐設置工	円形 500mm×H100	箇所	2	10	0.2	1.7	0.34	
消火栓筐設置工	上部壁 φ500×H200	箇所	2	33.3	0.06	1.7	0.1	
消火栓筐設置工	中部壁 φ500×H100	箇所	2	50	0.04	1.7	0.07	
消火栓筐設置工	下部壁 φ500×H200	箇所	2	50	0.04	1.7	0.07	
消火栓筐設置工	底板 φ500×H40	箇所	2	50	0.04	1.7	0.07	
合 計					1		1	

工 種	種別	単位	作業量	日当り 作業量	作業日数（日）			備 考
					実働日数	不稼働率	工期	
交通誘導員数	現場当たり		3人	×	1日	=	3人	交代要員を含む実働日数とし、 1日当り3人/組を計上する。